

第2編 建築工事

第1章 新営工事

本章は、建築物等の新築及び増築に係る建築工事の積算に適用する。

第1節 仮設

1 一般事項

- (1) 表A1-1-1～表A1-1-34の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 各工事種目に共通して必要な仮設（以下「共通仮設」という。）のうち、共通仮設費率に含まないもの及び各工事種目ごとに必要な仮設（以下「直接仮設」という。）について適用する。
- (3) 移動式揚重機の価格は、物価資料による建設機械賃料とする。
- (4) 仮設材の運搬費は往復とし、車両はトラック4t積で、運搬距離は30km程度（片道）を標準とする。
- (5) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
 - イ. 共通仮設の仮囲い及び仮設鉄板敷その他に適用する。
 - ロ. 直接仮設の遣方、墨出し、養生、整理清掃後片付け、足場、災害防止及び仮設材運搬に適用する。
 - ハ. 歩掛りの摘要のうち、小規模とは、おおむね建築面積においては150㎡未満、延べ面積においては300㎡未満の建物をいい、複雑とは小部屋が多い建物等をいう。
 - ニ. 仮設資材価格の算定は、以下による。

建設用仮設材のうち賃貸仮設材の利用に係る費用（以下「仮設資材賃料」という。）は、物価資料による仮設資材賃料（基本料＋日額賃料×設計供用日数）又は基礎価格に1現場当たり損料率を乗じて算定する。なお、リース材の返還時に必要な軽微な補修費用を修理費として計上する。
 - ホ. 修理費は、仮設資材賃料の5%を標準とする。
 - ヘ. 建設用仮設材において、掛けと払いを別々に計上する必要がある場合は、基本料は掛け手間に、修理費は払い手間に計上する。

（2）細目工種

（共通仮設）

表 A1 - 1 - 1

仮囲い (1m当たり)					
名 称	摘 要	単 位	高 さ (m)		備 考
			3.0	2.0	
仮 囲 鉄 板	t=1.2mm W=500	枚	2.1	2.1	仮設資材賃料
丸 パ イ プ	φ48.6	m	9.36	6.24	
修 理 費		式	1	1	
普 通 作 業 員		人	0.24	0.19	労務費の8%
雑 費		式	1	1	
そ の 他		式	1	1	

- (注) 1. 表中の施工手間は、設置65%、撤去35%の割合とする。
 2. 雑費は、ハンマ、ラチェットレンチ、脚立、足場板、フックボルト、クランプ等の費用とする。
 3. 「その他」の率対象は、普通作業員及び雑費とする。

表 A1 - 1 - 2

仮囲い運搬 (100m当たり往復)					
名 称	摘 要	単 位	高 さ (m)		備 考
			3.0	2.0	
ト ラ ッ ク 運 転	4t積	日	2.13	1.42	

表 A1 - 1 - 3

仮設鉄板敷 (1㎡当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
敷 鉄 板	1,524×6,096×22mm	枚	0.11	仮設資材賃料
ト ラ ッ ク ク レ ン 運 転	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日	0.023	建設機械賃料
普 通 作 業 員		人	0.046	
そ の 他		式	1	

- (注) 1. 表中の施工手間及び機械運転は、設置50%、撤去50%の割合とする。
 2. 仮設鉄板敷の仮設資材賃料は、整備費+設置期間に応じた日額賃料×設計供用日数とする。なお、不足弁償費は計上しない。
 3. 敷鉄板の積込み取卸しに要する費用を含む。
 4. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 - 1 - 4

仮設敷鉄板運搬 (1㎡当たり往復)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
トラック運転	11t積	日	0.01	

(注) 1. 敷鉄板の寸法は、1,524×6,096×22mmとする。
 2. 運搬機械の日数はトラック11t積による換算値とする。

表 A1 - 1 - 5

トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型）分解・組立費 (1回当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
特殊作業員		人	5.6	
雑 費		式	1	労務費の6%
そ の 他		式	1	

(注) 1. 分解部品の運搬費は別途加算する。
 2. 100t吊～200t吊のトラッククレーン（油圧伸縮ジブ型）に適用する。
 3. 「その他」の率対象は、特殊作業員及び雑費とする。

表 A1 - 1 - 6

トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型）分解部品運搬 (1往復当たり)							
名 称	摘 要	単 位	100t吊	120t吊	160t吊	200t吊	備 考
トラック運転	11t積	日	3.7	4.1	5.8	12.7	

(注) 1. 運搬機械の日数はトラック11t積による換算値とする。

(直接仮設)

表 A1 - 1 - 7

遣方							
名 称	摘 要	単 位	1 か所当たり		建築面積 1 ㎡当たり		備 考
			平遣方	隅遣方	一般	小規模・複雑	
切り丸太	末口75mm、L=1,800mm	本	2.0	3.0	0.15	0.2	90%
小 幅 板	15×90mm	m ³	0.005	0.01	0.0004	0.0006	90%
く ぎ		kg	0.014	0.028	0.001	0.002	100%
大 工		人	0.08	0.12	0.006	0.008	
普通作業員		人	0.08	0.12	0.006	0.008	
そ の 他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。
 2. 「その他」の率対象は、くぎ、大工及び普通作業員とする。

表 A1 - 1 - 8

墨出し (延べ面積1㎡当たり)					
名 称	摘 要	単 位	一 般	小 規 模 複 雑	備 考
大 工		人	0.015	0.018	
普通作業員		人	0.013	0.016	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、大工及び普通作業員とする。

表 A1 - 1 - 9

養生・整理清掃後片付け (延べ面積1㎡当たり)							
名 称	摘 要	単 位	一 般		小規模・複雑		備 考
			養 生	整理清掃 後片付け	養 生	整理清掃 後片付け	
普通作業員		人	0.018	—	0.022	—	
軽作業員		人	—	0.09	—	0.11	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員及び軽作業員とする。

表 A1 - 1 - 10

地足場 (建築面積1㎡当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
丸 パ イ プ	φ48.6	m	1.32	仮設資材賃料
合板足場板	240×4,000mm	枚	0.58	
ジョイント		個	0.16	
ク ラ ン プ	自在直交親子	個	0.33	
修 理 費		式	1	
と び 工		人	0.036	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 標準設計供用日数は、30日とする。

2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -11

枠組本足場【手すり先行方式】：1200枠（500布枠×2枚）							（掛面積1㎡当たり）
名 称	摘 要	単位	足場高さ 12m未満	足場高さ 22m未満	足場高さ 22m以上	備 考	
建 枠	1,200×1,700mm	枚	0.38	0.38	0.38	仮設資材賃料	
板 付 布 枠	500×1,800mm	枚	0.65	0.65	0.65		
筋 違	1,200×1,800mm	本	0.32	0.32	0.32		
合 板 足 場 板	240×4,000mm	枚	0.05	0.03	0.02		
ジャッキベース	ストローク250mm	本	0.12	0.08	0.06		
壁 つ な ぎ	L=600程度	個	0.03	0.03	0.03		
先行手すり枠		枚	0.36	0.36	0.36		
つま先板(幅木)		枚	0.68	0.68	0.68		
手 す り	枠組本足場用	本	0.36	0.36	0.36		
修 理 費		式	1	1	1		
と び 工		人	0.049	0.056	0.062		
そ の 他		式	1	1	1		

- (注) 1. 枠組足場階段を含む。
 2. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
 3. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -12

枠組本足場【手すり先行方式】：900枠（500+240布枠）							（掛面積1㎡当たり）
名 称	摘 要	単位	足場高さ 12m未満	足場高さ 22m未満	足場高さ 22m以上	備 考	
建 枠	900×1,700mm	枚	0.38	0.38	0.38	仮設資材賃料	
板 付 布 枠	500×1,800mm	枚	0.32	0.32	0.32		
板 付 布 枠	240×1,800mm	枚	0.32	0.32	0.32		
筋 違	1,200×1,800mm	本	0.32	0.32	0.32		
合 板 足 場 板	240×4,000mm	枚	0.05	0.03	0.02		
ジャッキベース	ストローク250mm	本	0.12	0.08	0.06		
壁 つ な ぎ	L=600程度	個	0.03	0.03	0.03		
先行手すり枠		枚	0.36	0.36	0.36		
つま先板(幅木)		枚	0.68	0.68	0.68		
手 す り	枠組本足場用	本	0.36	0.36	0.36		
修 理 費		式	1	1	1		
と び 工		人	0.044	0.049	0.054		
そ の 他		式	1	1	1		

- (注) 1. 枠組足場階段を含む。
 2. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
 3. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -13

枠組本足場【手すり先行方式】：600枠（500布枠）				（掛面積1㎡当たり）	
名称	摘要	単位	足場高さ 12m未満	備考	
建 枠	600×1,700mm	枚	0.38	}	仮設資材賃料
板 付 布 枠	500×1,800mm	枚	0.32		
筋 違	1,200×1,800mm	本	0.32		
合板足場板	240×4,000mm	枚	0.05		
ジャッキベース	ストローク250mm	本	0.12		
壁 つなぎ	L=600程度	個	0.03		
先行手すり枠		枚	0.36		
つま先板(幅木)		枚	0.68		
手 す り	枠組本足場用	本	0.36		
修 理 費		式	1		
と び 工		人	0.04		
そ の 他		式	1		

- (注) 1. 枠組足場階段を含む。
 2. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
 3. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -14

単管本足場				（掛面積1㎡当たり）		
名称	摘要	単位	足場高さ 10m未満	足場高さ 20m未満	足場高さ 20m以上	備考
丸 パ イ プ		m	5.6	5.5	5.4	}
合板足場板	240×4,000mm	枚	0.34	0.32	0.31	
ク ラ ン プ	自在直交親子	個	3.59	3.66	3.67	
ジョイント		個	0.72	0.71	0.70	
固 定 ベ ー ス		個	0.14	0.06	0.04	
壁 つなぎ		個	0.04	0.04	0.04	
つま先板(幅木)	合板足場板	枚	0.28	0.28	0.28	
修 理 費		式	1	1	1	
と び 工		人	0.10	0.11	0.12	
そ の 他		式	1	1	1	

- (注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
 2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -15

単管一本足場				(掛面積1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	足場高さ 10m未満	備 考
丸 パ イ プ		m	1.42	仮設資材賃料
合 板 足 場 板	240×4,000mm	枚	0.028	
ク ラ ン プ	自在直交親子	個	0.45	
ジ ョ イ ン ト		個	0.19	
固 定 ベ ー ス		個	0.06	
壁 つ な ぎ		個	0.04	
修 理 費		式	1	
と び 工		人	0.038	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
 2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -16

単管抱足場				(掛面積1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	足場高さ 10m未満	備 考
丸 パ イ プ		m	1.95	仮設資材賃料
合 板 足 場 板	240×4,000mm	枚	0.028	
ク ラ ン プ	自在直交親子	個	0.16	
ク ラ ン プ	三連直交	個	0.29	
ジ ョ イ ン ト		個	0.23	
固 定 ベ ー ス		個	0.06	
壁 つ な ぎ		個	0.04	
修 理 費		式	1	
と び 工		人	0.05	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
 2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -17

安全手すり					(掛長さ1m当たり)
名称	摘要	単位	枠組本足場用 【手すり先行方式】	単管 本足場用	備考
先行手すり枠	自在直交親子	枚	0.56	—	仮設資材賃料
丸パイプ		m	—	3.05	
クランプ		個	—	2.28	
修理費		式	1	1	
とび工		人	0.008	0.035	
その他		式	1	1	

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -18

登り棧橋					(掛長さ1m当たり)
名称	摘要	単位	単管 本足場用	備考	
丸パイプ	240×4,000mm 自在直交親子	m	6.75	仮設資材賃料	
合板足場板		枚	1.1		
クランプ		個	5.8		
滑り止め	棧木	m ³	0.005	40%	
くぎ		kg	0.14	100%	
修理費		式	1		
とび工		人	0.13		
その他		式	1		

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
2. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。
3. 「その他」の率対象は、くぎ及びとび工とする。

表 A1 - 1 -19

内部躯体足場（鉄筋・型枠足場 階高4.0m以下）					(床面積1m ² 当たり)
名称	摘要	単位	所要量	備考	
鋼製脚立	240×4,000mm	脚	0.1	日額賃料×設計供用日数	
合板足場板		枚	0.1		
修理費		式	1		
普通作業員		人	0.01		
その他		式	1		

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
2. 標準設計供用日数は、20日とする。ただし、平家建ての場合の設計供用日数は、30日とする。
3. 内部仕上足場への転用を考慮し、仮設資材賃料の基本料は計上しない。
4. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 - 1 -20

内部仕上足場（脚立足場 階高4.0m以下）				（床面積 1 m ² 当たり）	
名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考	
鋼 製 脚 立	240×4,000 mm	脚	0.2	}	仮設資材賃料
合 板 足 場 板		枚	0.2		
修 理 費		式	1		
普 通 作 業 員		人	0.02		
そ の 他		式	1		

- (注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
 2. 標準設計供用日数は、20日とする。ただし、平家建ての場合の設計供用日数は、30日とする。
 3. 複数階への転用がある場合は、仮設資材賃料の基本料に転用率(表A1-1-21)を乗じて算定する。
 4. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 - 1 -21

転用率											
転用階数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	備考
転用率	1.0	0.8	0.64	0.5	0.4	0.33	0.29	0.25	0.22	0.2	

表 A1 - 1 -22

内部躯体足場（鉄筋・型枠足場、躯体支保工 階高4.0m超）【手すり先行方式】（床面積1㎡当たり）									
名 称	摘 要	単 位	階 高 (m)						
			鉄筋・型枠足場			躯体支保工			
			4.0超 5.0未満	5.0以上 5.7未満	5.7以上 7.4未満	7.4以上 9.1未満	9.1以上 10.8未満	10.8以上 12.5未満	
建 枠	900×1,700mm	枚	0.16	0.44	0.77	1.11	1.44	1.78	
調 整 枠	900×1,200mm	枚	0.16	—	—	—	—	—	
板 付 布 枠	500×1,800mm	枚	0.14	0.11	0.44	0.78	1.11	1.44	
板 付 布 枠	240×1,800mm	枚	0.14	0.11	0.44	0.78	1.11	1.44	
筋 違	1,200×1,800mm	本	0.14	0.44	0.78	1.11	1.44	1.77	
丸 パ イ プ		m	1.11	1.86	1.86	1.86	2.82	2.82	
合 板 足 場 板	240×4,000mm	枚	0.3	0.67	0.67	0.67	0.67	0.67	
ク ラ ン プ		個	0.84	1.08	1.08	1.08	1.43	1.43	
ジ ョ イ ン ト		個	0.12	0.32	0.32	0.32	0.83	0.83	
ジャッキベース	ストローク250mm	本	0.33	0.67	0.67	0.67	0.67	0.67	
手 す り	枠組足場用	本	0.11	0.22	0.44	0.67	0.89	1.11	
先行手すり枠		枚	0.14	0.44	0.78	1.11	1.44	1.77	
つま先板(幅木)		枚	0.33	0.56	0.67	0.78	0.89	1.0	
修 理 費		式	1	1	1	1	1	1	
と び 工		人	0.062	0.127	0.163	0.199	0.274	0.31	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	

- (注) 1. 建枠からつま先板（幅木）までは、仮設資材賃料を計上する。
 2. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
 3. 躯体支保工には、鉄筋・型枠足場を含む。
 4. 複数階への転用がある場合は、仮設資材賃料の基本料に転用率(表A1-1-21)を乗じて算定する。
 5. 標準設計供用日数（鉄筋・型枠足場、躯体支保工の平均存置期間）は、下表による。
 6. 「その他」の率対象は、とび工とする。

階 高 (m)	単 位	4.0超 5.0未満	5.0以上 5.7未満	5.7以上 7.4未満	7.4以上 9.1未満	9.1以上 10.8未満	10.8以上 12.5未満	備 考
標準設計供用日数	日	20 [*]	38	43	43	47	47	

※ただし、平家建ての場合の設計供用日数は、30日とする。

表 A1 - 1 -23

内部仕上足場（枠組棚足場 階高4.0m超）【手すり先行方式】			（床面積1㎡当たり）					
名 称	摘 要	単 位	階 高 (m)					
			4.0超 5.0未満	5.0以上 5.7未満	5.7以上 7.4未満	7.4以上 9.1未満	9.1以上 10.8未満	10.8以上 12.5未満
建 枠	900×1,700mm	枚	0.18	0.36	0.54	0.72	0.9	1.08
調 整 枠	900×1,200mm	枚	0.18	-	-	-	-	-
板 付 布 枠	500×1,800mm	枚	0.17	0.17	0.33	0.67	0.67	0.83
板 付 布 枠	240×1,800mm	枚	0.17	0.17	0.33	0.67	0.67	0.83
筋 違	1,200×1,800mm	本	0.33	0.33	0.5	0.67	0.83	1.0
丸 パ イ プ		m	1.79	1.79	1.79	2.6	2.6	2.6
合 板 足 場 板	240×4,000mm	枚	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19
ク ラ ン プ		個	0.92	0.92	0.92	1.37	1.37	1.37
ジ ョ イ ン ト		個	0.36	0.36	0.36	0.44	0.44	0.44
ジャッキベース	ストローク250mm	本	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36
手 す り	枠組足場用	本	0.2	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0
先行手すり枠		枚	0.33	0.33	0.5	0.67	0.83	1.0
つま先板(幅木)		枚	0.42	0.42	0.62	0.82	1.02	1.22
修 理 費		式	1	1	1	1	1	1
と び 工		人	0.098	0.098	0.114	0.144	0.173	0.189
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1

- (注) 1. 建枠からつま先板(幅木)までは、仮設資材賃料を計上する。
 2. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
 3. 複数階への転用がある場合は、仮設資材賃料の基本料に転用率(表A1-1-21)を乗じて算定する。
 4. 標準設計供用日数は、表A1-1-24 による。ただし、平家建ての場合の設計供用日数は、30日とする。
 5. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -24

階 高 (m)	単 位	4.0超 5.0未満	5.0以上 5.7未満	5.7以上 7.4未満	7.4以上 9.1未満	9.1以上 10.8未満	10.8以上 12.5未満	備考
標準設計供用日数	日	25	25	25	26	26	27	

表 A1 - 1 -25

内部仕上足場（簡易型移動式足場 階高4.0m超）			（床面積1㎡当たり）				
名 称	摘 要	単 位	階 高 (m)				備 考
			4.0超 5.0未満	5.0以上 5.7未満	5.7以上 7.4未満	7.4以上 9.1未満	
ローリングタワー	2段	台	0.02	—	—	—	仮設資材賃料
ローリングタワー	3段	台	—	0.02	—	—	
ローリングタワー	4段	台	—	—	0.02	—	
ローリングタワー	5段	台	—	—	—	0.02	
修 理 費		式	1	1	1	1	
と び 工		人	0.02	0.02	0.025	0.03	
そ の 他		式	1	1	1	1	

- (注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
 2. 標準設計供用日数は、30日とする。
 3. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -26

内部階段仕上足場			（床面積1㎡当たり）	
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
丸 パ イ プ	φ48.6	m	2.6	仮設資材賃料
合 板 足 場 板	240×4,000mm	枚	0.84	
固 定 ベ ー ス		個	0.42	
ク ラ ン プ		個	1.05	
滑 り 止 め	栈木	m ³	0.0012	20%
く ぎ		kg	0.034	100%
修 理 費		式	1	
と び 工		人	0.064	
そ の 他		式	1	

- (注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
 2. 標準設計供用日数は、30日とする。
 3. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。
 4. 「その他」の率対象は、くぎ及びとび工とする。

表 A1 - 1 -27

シャフト内足場				(床面積1㎡当たり)	
名称	摘要	単位	所要量	備考	
丸パイプ	φ48.6	m	3.08] 仮設資材賃料	
合板足場板	240×4,000mm	枚	1.33		
固定ベース		個	0.34		
ジョイント		個	0.34		
クランプ		個	1.33		
修理費		式	1		
とび工		人	0.13		
その他		式	1		

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
 2. 標準設計供用日数は、30日とする。
 3. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -28

災害防止（金網類）						(掛面積1㎡当たり)
名称	摘要	単位	金網張り	金網張り (水平張り)	金網式 養生柵	備考
亀甲金網	16mm目	㎡	1.1	1.2	—] 仮設資材賃料 100%
金網式養生柵	850×1800mm	枚	—	—	0.65	
クランプ	養生柵用	個	—	—	0.78	
鉄線その他		kg	0.16	0.3	—	
修理費		式	—	—	1	
とび工		人	0.02	0.025	0.01	
その他		式	1	1	1	

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
 2. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。
 3. 亀甲金網の供用1日当たり損料率は0.2222 %とする。
 4. 「その他」の率対象は、鉄線その他及びとび工とする。

表 A1 - 1 -29

災害防止（シート・ネット類）						(掛面積1㎡当たり)
名称	摘要	単位	安全ネット張り (水平張り)	養生シート 張り	メッシュ シート張り	備考
安全ネット	15mm目防災タイプ	㎡	1.2	—	—] 仮設資材賃料
養生シート		㎡	—	1.1	—	
メッシュシート		㎡	—	—	1.1	
修理費		式	1	1	1	
とび工		人	0.023	0.022	0.018	
その他		式	1	1	1	

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
 2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -30

災害防止（小幅ネット）				（掛長さ1m当たり）
名称	摘要	単位	小幅ネット張り （層間塞ぎ）	備考
安全ネット	15mm目防災タイプ 500mm級	m ²	0.44	仮設資材賃料
ブラケット		本	0.56	
修理費		式	1	
とび工		人	0.02	
その他		式	1	

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -31

養生防護棚（直線部）				（掛長さ1m当たり）
名称	摘要	単位	枠組 本足場用	備考
朝顔主材	@1,829mm	組	0.55	仮設資材賃料
修理費		式	1	
とび工		人	0.11	
その他		式	1	

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -32

養生防護棚（コーナー部）				（1か所当たり）
名称	摘要	単位	枠組 本足場用	備考
朝顔主材	コーナー部	組	1.0	仮設資材賃料
修理費		式	1	
とび工		人	0.2	
その他		式	1	

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。
2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -33

仮設材運搬				（100m ² ・100m当たり往復）
名称	摘要	単位	所要量	備考
トラック運転	4t積	日	別表	所要量は別表A1-1-33-1～別表A1-1-33-14による

別表 A1 - 1 -33- 1

地足場 (100㎡当たり往復)			
名 称	単位	地足場	備 考
トラック 4 t 積	日	0.57	

別表 A1 - 1 -33- 2

枠組本足場【手すり先行方式】 (100㎡当たり往復)					
名 称	単位	1,200枠	900枠 (2枚布)	600枠	備 考
トラック 4 t 積	日	0.91	0.81	0.70	

別表 A1 - 1 -33- 3

単管足場 (100㎡当たり往復)					
名 称	単位	本足場	一本足場	抱足場	備 考
トラック 4 t 積	日	0.93	0.18	0.25	

別表 A1 - 1 -33- 4

安全手すり (100㎡当たり往復)				
名 称	単位	枠組本足場用 【手すり先行方式】	単 管 本足場用	備 考
トラック 4 t 積	日	0.18	0.39	

別表 A1 - 1 -33- 5

内部躯体足場（階高4.0m超）【手すり先行方式】 (100㎡当たり往復)							
名 称	単位	4.0m超 5.0m未満	5.0m以上 5.7m未満	5.7m以上 7.4m未満	7.4m以上 9.1m未満	9.1m以上 10.8m未満	10.8m以上 12.5m未満
トラック 4 t 積	日	0.82	1.45	2.08	2.78	3.57	4.17

(注) 1. 階高4.0m以下は、内部仕上足場（脚立足場）に転用するものとし、計上しない。

別表 A1 - 1 -33- 6

内部仕上足場（脚立足場 階高4.0m以下） (100㎡当たり往復)							
名 称	単位	平家建 (標準)	2階建 (標準)	3階建 (標準)	4階建 (標準)	5階建 (標準)	6階建 (標準)
トラック 4 t 積	日	0.25	0.20	0.16	0.125	0.1	0.083

名 称	単位	7階建 (標準)	8階建 (標準)	9階建 (標準)	10階建 (標準)	備 考
トラック 4 t 積	日	0.073	0.063	0.055	0.05	

別表 A1 - 1 -33- 7

内部仕上足場（枠組棚足場 階高4.0m超）【手すり先行方式】								(100㎡当たり往復)	
名 称	単位	4.0m超 5.0m未満	5.0m以上 5.7m未満	5.7m以上 7.4m未満	7.4m以上 9.1m未満	9.1以上 10.8m未満	10.8m以上 12.5m未満		
トラック4t積	日	1.69	1.69	2.08	2.7	2.94	3.23		

別表 A1 - 1 -33- 8

内部仕上足場（簡易型移動式足場 階高4.0m超）						(100㎡当たり往復)	
名 称	単位	4.0m超 5.0m未満 (2段)	5.0m以上 5.7m未満 (3段)	5.7m以上 7.4m未満 (4段)	7.4m以上 9.1m未満 (5段)	備 考	
トラック4t積	日	0.18	0.21	0.25	0.32		

別表 A1 - 1 -33- 9

その他の内部足場				(100㎡当たり往復)	
名 称	単位	内部階段 仕上足場	シャフト 内足場	備 考	
トラック4t積	日	0.89	1.32		

別表 A1 - 1 -33- 10

養生防護棚			(100㎡当たり往復)	
名 称	単位	枠組本足場用	備 考	
トラック4t積	日	2.04	コーナー部も含む	

別表 A1 - 1 -33- 11

登り栈橋			(100㎡当たり往復)	
名 称	単位	単 管 本足場用	備 考	
トラック4t積	日	1.67		

別表 A1 - 1 -33- 12

金網式養生柵			(100㎡当たり往復)	
名 称	単位	金網式 養生柵	備 考	
トラック4t積	日	0.29		

別表 A1 - 1 -33- 13

金網類、シート・ネット類				(100㎡当たり往復)	
名 称	単位	金網類	シート・ ネット類	備 考	
トラック4t積	日	0.052	0.02		

別表 A1 - 1 -33- 14

小 幅 ネット		(100m 当 たり 往 復)	
名 称	単 位	小 幅 ネット 張 り (層 間 塞 ぎ)	備 考
ト ラ ッ ク 4 t 積	日	0.07	

表 A1 - 1 -34

ト ラ ッ ク 運 転						(1日 当 たり)
名 称	摘 要	単 位	2t 積	4t 積	11t 積	備 考
運 転 手 (一 般)		人	1.0	1.0	1.0	
燃 料	軽 油	L	18.5	26.0	47.3	
機 械 損 料		供 用	1.13	1.13	1.13	
そ の 他		式	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手（一般）及び燃料とする。

第 2 節 土 工

1 一般事項

- (1) 表A1-2-1～表A1-2-6の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表A1-2-7の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 土工の適用土質は、土砂（レキ質土、砂、砂質土、粘性土）とする。
- (5) 単価に対応する土砂数量は、地山数量とする。
- (6) 根切りは、根切り付近に堆積又は運搬機械への積込みまで含む。
- (7) 根切り土を現場内外を問わず運搬機械により仮置きする場合は、仮置き場所までの運搬費を計上する。
- (8) 埋戻し、盛土等に購入土を使用する場合は、該当する単価に購入土の材料費を加える。また、購入土の所要量は20%を標準として割増しを見込む。
- (9) 埋戻し、盛土等に他現場の建設発生土を使用する場合は、実状に応じて別途運搬費等を計上する。
- (10) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
 - イ. 建築構造物等の人力土工及び建設発生土運搬に適用する。
 - ロ. 根切り（人力土工）は、機械施工が不可能な場合又は小規模工事に適用する。
 - ハ. 建設発生土運搬における小規模土工、人力土工の適用は、1か所当たりの掘削土量が、100m³程度までの小規模な土工及び小規模構造物（排水構造物、ブロック積、小型擁壁等）の土工に適用する。

(2) 細目工種

表 A1 - 2 - 1

根切り 人力土工				(1m ³ 当たり)
名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考
普通作業員		人	0.39	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 - 2 - 2

埋戻し 人力土工				(1m ³ 当たり)
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
普通作業員		人	0.23	
その他		式	1	

(注) 1. 締固めが必要な場合は、タンパによる締固めを別途計上する。
 2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 - 2 - 3

積込 人力土工				(1m ³ 当たり)
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
普通作業員		人	0.13	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 - 2 - 4

建設発生土運搬（一般）				(1m ³ 当たり往復)
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
ダンプトラック運転	10t積級	日	D/100	運搬日数(D)は別表A1-2-4-1～別表A1-2-4-4による

(注) 1. 適用機械は10t積級を標準とするが、現場状況等によりその使用が困難な場合は別途考慮する。

別表 A1 - 2 - 4 - 1 ダンプトラック運搬日数(D) (100m³当たり)

積込機械	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型1.4m ³																	
運搬機種	ダンプトラック 10t積級																	
D I D 区間：無し																		
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	10.0 以下	12.5 以下	16.5 以下	23.5 以下	51.5 以下	60.0 以下
運搬日数	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4
D I D 区間：有り																		
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	6.5 以下	8.0 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.0 以下	20.5 以下	33.0 以下	60.0 以下
運搬日数	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4

別表 A1 - 2 - 4 - 2 ダンプトラック運搬日数(D) (100m³当たり)

積込機械	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.8m ³																	
運搬機種	ダンプトラック 10t積級																	
D I D 区間：無し																		
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	6.5 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.5 以下	22.5 以下	49.5 以下	60.0 以下		
運搬日数	0.65	0.75	0.85	0.95	1.1	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4		
D I D 区間：有り																		
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	11.0 以下	14.0 以下	19.5 以下	31.5 以下	60.0 以下		
運搬日数	0.65	0.75	0.85	0.95	1.1	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4		

別表 A1 - 2 - 4 - 3 ダンプトラック運搬日数(D) (100m³当たり)

積込機械	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.45m ³																	
運搬機種	ダンプトラック 10t積級																	
D I D 区間：無し																		
運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.5 以下	10.0 以下	13.5 以下	19.5 以下	39.0 以下	60.0 以下					
運搬日数	1.1	1.2	1.4	1.6	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4					
D I D 区間：有り																		
運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.5 以下	28.5 以下	60.0 以下					
運搬日数	1.1	1.2	1.4	1.6	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4					

別表 A1 - 2 - 4 - 4 ダンプトラック運搬日数(D) (100m³当たり)

積込機械	クラムシェル 油圧ロープ式クローラ型0.6m ³																	
運搬機種	ダンプトラック 10t積級																	
D I D 区間：無し																		
運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	2.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.5 以下	13.0 以下	19.5 以下	37.5 以下	60.0 以下						
運搬日数	1.2	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4						
D I D 区間：有り																		
運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	2.0 以下	3.5 以下	4.0 以下	5.0 以下	6.5 以下	8.5 以下	12.0 以下	17.0 以下	28.0 以下	60.0 以下						
運搬日数	1.2	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4						

- (注) 1. 上記別表は、地山100m³の土量を運搬する日数である。
 2. 運搬距離は片道距離であり、往路と復路が異なる時は、平均値とする。
 3. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。
 4. D I D (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
 5. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途積上げとする。
 6. バックホウの標準バケット容量は山積容量を示し、クラムシェルの標準バケット容量は平積容量を示す。

表 A1 - 2 - 5

建設発生土運搬（小規模土工、人力土工）				(1m ³ 当たり往復)
名称	摘要	単位	所要量	備考
ダンプトラック運転	4t積級又は 2t積級	日	D/10	運搬日数(D)は別表A1-2-5-1～別表A1-2-5-3による

(注) 1. 適用機械については小規模土工は4t積級、人力土工は2t積級を標準とするが、現場状況等によりその使用が困難な場合は別途考慮する。

別表 A1 - 2 - 5 - 1 ダンプトラック運搬日数(D) (10m³当たり)

積込機械	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.28m ³													
運搬機種	ダンプトラック 4t積級													
D I D 区間：無し														
運搬距離 (km)	0.2 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.0 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.5 以下	10.0 以下	13.0 以下	19.0 以下	35.0 以下	60.0 以下
運搬日数	0.2	0.25	0.3	0.35	0.4	0.45	0.5	0.55	0.6	0.8	0.9	1.1	1.5	2.3
D I D 区間：有り														
運搬距離 (km)	0.2 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.0 以下	27.0 以下	60.0 以下
運搬日数	0.2	0.25	0.3	0.35	0.4	0.45	0.5	0.55	0.6	0.8	0.9	1.1	1.5	2.3

別表 A1 - 2 - 5 - 2 ダンプトラック運搬日数(D) (10m³当たり)

積込機械	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.13m ³													
運搬機種	ダンプトラック 2t積級													
D I D 区間：無し														
運搬距離 (km)	0.3 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.0 以下	28.5 以下	60.0 以下
運搬日数	0.45	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5
D I D 区間：有り														
運搬距離 (km)	0.3 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.0 以下	6.5 以下	8.0 以下	11.0 以下	15.0 以下	24.0 以下	60.0 以下
運搬日数	0.45	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5

別表 A1 - 2 - 5 - 3 ダンプトラック運搬日数(D) (10m³当たり)

積込機械	人力													
運搬機種	ダンプトラック 2t積級													
D I D 区間：無し														
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.0 以下	6.5 以下	8.5 以下	11.0 以下	16.0 以下	27.5 以下	60.0 以下
運搬日数	0.5	0.55	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5
D I D 区間：有り														
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	8.0 以下	10.5 以下	14.5 以下	23.0 以下	60.0 以下
運搬日数	0.5	0.55	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5

- (注) 1. 上記別表は、地山10m³の土量を運搬する日数である。
 2. 運搬距離は片道距離であり、往路と復路が異なる時は、平均値とする。
 3. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。
 4. D I D (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
 5. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途積上げとする。
 6. バックホウの標準バケット容量は山積容量を示し、クラムシエルの標準バケット容量は平積容量を示す。

表 A1 - 2 - 6

機械運転 (1日当たり)						
機械名	規 格	適用単価表	運転労務 (人)	燃料（軽油） (L)	機械損料 (供用日)	備 考
ダンプトラック	10t積級	単価表 (別表A1-2-6-1)	1.0	58.1	1.29	
ダンプトラック	4t積級	単価表 (別表A1-2-6-1)	1.0	32.0	1.29	
ダンプトラック	2t積級	単価表 (別表A1-2-6-1)	1.0	20.8	1.29	

別表 A1 - 2 - 6 - 1

運転1日当たり単価表 (1日当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
運転手（一般）		人		表 A1 - 2 - 6 による
燃 料	軽油	L		表 A1 - 2 - 6 による
機 械 損 料		供用日		表 A1 - 2 - 6 による
タイヤ損耗費		供用日		所要量は機械損料による
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手（一般）及び燃料とする。

3 市場単価

(1) 適用条件及び留意事項

- イ. 建築構造物等の機械土工及び土工機械運搬に適用する。
- ロ. 根切りは、運搬機械へ直接積込む費用を含む。
- ハ. 土工機械は排出ガス対策型とする。また、機械運搬費は別途計上する。
- ニ. 床付けは必要に応じて計上する。
- ホ. 杭間ざらいは、既製コンクリート杭地業において適用する。

（2）細目工種

表 A1 - 2 - 7

細目	摘要	単位	備考
根切り	つぼ、布掘 深さ2.5m程度	m ³	
床付け	つぼ、布掘	m ²	
根切り	総掘 法付オープンカット	m ³	
根切り	自立山留め内	m ³	
床付け	総掘	m ²	
すきとり	H=300程度	m ³	
杭間ざらい	既製コンクリート杭 φ350~600mm	本	
埋戻し	発生土	m ³	建物廻り仮置き土
機械運搬費	片道30km以内 バックホウ	往復	

第3節 地 業

1 一般事項

- (1) 表A1-3-1～表A1-3-3細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 既製コンクリート杭地業における既製コンクリート杭の材料単価は、物価資料の掲載価格により、工事費積算時の価格とする。また、これによりがたい場合は製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考に定める。
- (4) 場所打ちコンクリート杭地業における資材単価及び運搬費は第4節、第5節及び第7節による。
- (5) 構造体強度補正の費用については、別途計上する。
- (6) 杭施工費については、専門工事業者の見積価格等を参考に定める。
- (7) 鉄筋及び鋼材を工場にて加工する場合は運搬費を計上する。
- (8) 鉄筋及び鋼材を加工する際に発生する材料の残材については、第4節及び第7節による。
- (9) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

(1) 適用条件及び留意事項

建築構造物等の既製コンクリート杭における杭頭処理、砂利地業及び床下防湿層に適用する。

(2) 細目工種

表 A1 - 3 - 1

既製コンクリート杭杭頭処理			(1か所当たり)						
名 称	摘 要	単 位	杭径300	杭径350	杭径400	杭径450	杭径500	杭径600	備 考
は つ り 工		人	0.12	0.16	0.20	0.25	0.30	0.41	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	

- (注) 1. 切断後の建設発生材の積込み費を含む。
 2. 「その他」の率対象は、はつり工とする。

表 A1 - 3 - 2

砂利地業 (1 m ³ 当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
砂利		m ³	1.1	切込砂利、切込碎石又は再生クラッシュラン
普通作業員		人	0.2	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 - 3 - 3

床下防湿層敷き (1 m ² 当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
ポリエチレンフィルム	厚0.15mm	m ²	1.1	
普通作業員		人	0.005	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

第4節 鉄筋

1 一般事項

- (1) 表A1-4-1、表A1-4-2の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表A1-4-3の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 鉄筋を加工する際に発生する材料の残材に価値がある場合は、その価値を評価しスクラップ控除として直接工事費から控除する。
- (5) 鉄筋材料単価及び鉄筋屑等のスクラップ単価は、物価資料の掲載価格により、工事費積算時の価格とする。ただし、これによりがたい場合は製造業者の見積価格等を参考に定める。
- (6) 鉄筋材料を工場にて加工する場合は運搬費を計上し、運搬距離30km程度（片道）を標準とする。
- (7) 標準歩掛り及び市場単価には、鉄筋の材料費は含まない。
- (8) 鉄筋加工組立は、工場加工及び現場組立とする。
- (9) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
 - イ. 建築構造物等の梁貫通孔補強の鉄筋工場加工及び組立に適用する。
 - ロ. 梁貫通孔補強鉄筋の加工及び組立において細物とはD13以下、太物とはD16以上とする。

(2) 細目工種

表 A1 - 4 - 1

梁貫通孔補強鉄筋工場加工					(1t当たり)
名称	摘要	単位	太物	細物	備考
鉄筋工		人	1.34	1.89	(労)×(30~60%)
普通作業員		人	0.2	0.25	
工場管理費		式	1	1	
その他		式	1	1	

- (注) 1. 鉄筋の運搬費は市場単価による。
 2. 「その他」の率対象は、鉄筋工、普通作業員及び工場管理費とする。

表 A1 - 4 - 2

梁貫通孔補強鉄筋組立					(1t当たり)
名称	摘要	単位	太物	細物	備考
鉄筋工	#21	人	3.0	3.8	
普通作業員		人	0.3	0.4	
結束線		kg	2.0	5.0	
その他		式	1	1	

(注) 1. 鉄筋の運搬費は市場単価による。

2. 「その他」の率対象は、鉄筋工、普通作業員及び結束線とする。

3 市場単価

(1) 適用条件及び留意事項

イ. 建築構造物等の鉄筋加工組立、鉄筋運搬及びガス圧接に適用する。

ロ. 対応する鉄筋径はD 10以上D 32以下とする。

ハ. 鉄筋加工組立における太物及び細物鉄筋は、標準的な構成比とする。また、コンクリート打設時における合番を含む。

(2) 細目工種

表 A1 - 4 - 3

細目	摘要	単位	備考
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5~4.0m程度 形状単純	t	
鉄筋加工組立	SRCラーメン構造 階高3.5~4.0m程度 形状単純	t	
鉄筋加工組立	RC壁式構造 階高2.8m程度 形状単純	t	
スパイラル筋取付		t	
鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	t	
鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 10t車	t	
ガス圧接	D 19 - D 19	か所	
ガス圧接	D 22 - D 22	か所	
ガス圧接	D 25 - D 25	か所	
ガス圧接	D 29 - D 29	か所	
ガス圧接	D 32 - D 32	か所	
ガス圧接	D 19 - D 22	か所	
ガス圧接	D 22 - D 25	か所	
ガス圧接	D 25 - D 29	か所	
ガス圧接	D 29 - D 32	か所	

第5節 コンクリート

1 一般事項

- (1) 表A1-5-1の細目工種は、市場単価を適用する。
- (2) 本節に定める市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 普通コンクリートを標準とする。
- (4) 材料単価は、物価資料の掲載価格による。ただし、これによりがたい場合は製造業者の見積価格等を参考に定める。
- (5) 構造体強度補正の費用については、別途計上する。
- (6) 配管式ポンプ車で打設する場合は、コンクリート足場を計上する。
- (7) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 市場単価

- (1) 適用条件及び留意事項
 - イ. 建築構造物等のコンクリート打設手間及びポンプ圧送に適用する。
 - ロ. スランプは、15～18cmを標準とする。
 - ハ. コンクリートポンプ車は、配管式及びブーム式両方に適用する。
 - ニ. ポンプ圧送費（基本料金及び圧送料金）には、機械器具費、機械運転費及び回送費を含み、圧送高さは30m以下とする。
 - ホ. ポンプ圧送の基本料金は、ポンプ車1台・1回当たりの単価とする。また、ポンプ車1日当たりの打設量及び1日当たりのコンクリート打設量を勘案して計上する。

（2）細目工種

表 A1 - 5 - 1

細目	摘要	単位	備考
コンクリート打設手間	捨コンクリート ポンプ打ち	m ³	
コンクリート打設手間	土間コンクリート ポンプ打ち	m ³	
コンクリート打設手間	基礎コンクリート ポンプ打ち	m ³	
コンクリート打設手間	躯体コンクリート ポンプ打ち	m ³	
コンクリート打設手間	防水押えコンクリート ポンプ打ち	m ³	
ポンプ圧送	基本料金 1回の打設量が100m ³ 以上	回	
ポンプ圧送	基本料金 1回の打設量が50m ³ 以上100m ³ 未満	回	
ポンプ圧送	基本料金 1回の打設量が30m ³ 以上50m ³ 未満	回	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が100m ³ 以上	m ³	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が50m ³ 以上100m ³ 未満	m ³	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が30m ³ 以上50m ³ 未満	m ³	
ポンプ圧送	基本料金 1回の打設量が50m ³ を超える	回	
ポンプ圧送	基本料金 1回の打設量が50m ³ 以下	回	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が50m ³ を超える	m ³	注)
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が50m ³ 以下	m ³	

注) 1回の打設量が50m³を超える場合は、50m³を超えた数量分のみを対象とする。

第6節 型 枠

1 一般事項

- (1) 表A1-6-1、表A1-6-2の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表A1-6-3の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 型枠材の運搬費は往復とし、運搬距離は30km程度（片道）を標準とする。
- (5) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
 建築構造物等のコンクリート打放し仕上げにおける打放し面補修及び型枠目地棒に適用する。

(2) 細目工種

表 A1 - 6 - 1

打放し面補修 (1㎡当たり)						
名 称	摘 要	単 位	A種	B種	C種	備 考
			コーン処理	部分目違いばらい コーン処理共	全面目違いばらい	
左 官		人	0.015	0.025	0.02	
そ の 他		式	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、左官とする。

表 A1 - 6 - 2

型枠目地棒 (1m当たり)				
名 称	摘 要	単 位	30×30 以 下	備 考
型 枠 目 地 材		m	1.05	
型 わ く 工		人	0.007	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、型枠目地材及び型わく工とする。

3 市場単価

(1) 適用条件及び留意事項

- イ．建築構造物等の合板型枠及び型枠運搬に適用する。
- ロ．建物形状は単純なものとする。
- ハ．コンクリート打設時の合番を含む。
- ニ．サポート類を含む。
- ホ．目地棒（化粧目地、打継目地、誘発目地）及び大面木は含まない。

(2) 細目工種

表 A1 - 6 - 3

細目	摘要	単位	備考
普通合板型枠	基礎部	m ²	
普通合板型枠	地下軸部 階高5.0m程度	m ²	
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高2.8m程度	m ²	
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度	m ²	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部B種 階高3.5～4.0m程度	m ²	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部C種 階高3.5～4.0m程度	m ²	
普通合板型枠	壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	m ²	
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部B種 階高2.8m程度	m ²	
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部C種 階高2.8m程度	m ²	
型枠運搬費	型枠運搬費 4t車 基準距離30km以内	m ²	
型枠運搬費	型枠運搬費 10t車 基準距離30km以内	m ²	

第7節 鉄 骨

1 一般事項

- (1) 表A1-7-1～表A1-7-5の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 鋼材を加工する際に発生する材料の残材に価値がある場合は、その価値を評価しスクラップ控除として直接工事費から控除する。
- (4) 鋼材単価、鋼材屑等のスクラップ単価は、物価資料の掲載価格により、工事費積算時の価格とする。ただし、これによりがたい場合は製造業者の見積価格等を参考に定める。
- (5) 鉄骨工場加工費、現場建方、トルシア形高力ボルト締付け、現場溶接及びアンカーボルト埋込みについては、専門工事業者の見積価格を参考に定める。ただし、これによりがたい場合は物価資料の掲載価格等によることができる。
- (6) 鋼材を工場にて加工する場合は、運搬費を計上する。
- (7) 鉄骨建方用揚重機の費用は別途計上する。
- (8) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
 建築構造物等の軽量鉄骨加工組立、柱底均しモルタル及び鉄骨足場に適用する。

- (2) 細目工種

表 A1 - 7 - 1

軽量鉄骨(母屋・胴縁の類)加工組立				(1t当たり)
名 称	摘 要	単 位	一 般	備 考
鉄 骨 工		人	4.0	
そ の 他		式	1	

- (注) 1. 普通ボルト締付けを含む。
 2. 「その他」の率対象は、鉄骨工とする。

表 A1 - 7 - 2

柱底均しモルタル							(1か所当たり)
名 称	摘 要	単位	B 種				備 考
			厚30mm				
			400mm角	500mm角	600mm角	700mm角	
セメント	砂	kg	3.2	5.0	7.2	9.8	
細骨材		m ³	0.005	0.008	0.012	0.016	
左官		人	0.08	0.09	0.1	0.11	
普通作業員		人	0.03	0.03	0.03	0.03	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率は、第1編 総則 表3-1-1建築工事の「左官」による。
 2. 「その他」の率対象は、左官及び普通作業員とする。

表 A1 - 7 - 3

鉄骨足場				(掛面積1㎡当たり)
名 称	摘 要	単位	単管つり足場	備 考
丸パイプ	径6 L=4,000mm	m	1.95	2%
足場チェーン		本	0.13	2%
合板足場板		枚	0.05	2%
とび工		人	0.035	
その他		式	1	

(注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。
 2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 7 - 4

仮設材運搬(鉄骨足場)							(100㎡当たり往復)	
名 称	摘 要	単位	1 節	2 節	3 節	4 節	5 節	備 考
トラック運転	4t積	日	0.225	0.18	0.143	0.113	0.09	

表 A1 - 7 - 5

トラック運転				(1日当たり)
名 称	摘 要	単位	4t積	備 考
運転手(一般)	軽油	人	1.0	
燃料		L	26.0	
機械損料		供用日	1.13	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(一般)及び燃料とする。

第8節 既製コンクリート

1 一般事項

- (1) 表A1-8-1～表A1-8-4の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

(1) 適用条件及び留意事項

- イ. 建築用コンクリートブロック積み帳壁及び防水立上り保護に適用する。
- ロ. コンクリートブロック積みの鉄筋の配筋は、次表による。

用途	縦筋	横筋
内 壁	D10-400 @	D10-400@
外 壁	D13-400 @	D10-400@

(注) 1. 重ね継手長さは45d及び定着長さは40dとする。ただし、配力筋の定着長さは25dとする。

(2) 細目工種

表 A1 - 8 - 1

内壁コンクリートブロック帳壁(空洞ブロックC(16))							(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	厚さ 100mm	厚さ 120mm	厚さ 150mm	厚さ 190mm	備考
建築用空洞ブロック		個	13	13	13	13	
セメント		kg	13.1	16.6	24.2	35.3	
細骨材	砂	m ³	0.03	0.03	0.05	0.07	
鉄筋	D10	kg	3.7	3.7	3.7	3.7	
建築ブロック工		人	0.12	0.13	0.14	0.16	
普通作業員		人	0.06	0.07	0.08	0.11	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、建築用空洞ブロック、建築ブロック工及び普通作業員とする。

表 A1 - 8 - 2

外壁コンクリートブロック帳壁(空洞ブロックC(16))							(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単位	厚 さ 100mm	厚 さ 120mm	厚 さ 150mm	厚 さ 190mm	備 考
建築用空洞ブロック		個	13	13	13	13	
セメント		kg	13.1	16.6	24.2	35.3	
細骨材	砂	m ³	0.03	0.03	0.05	0.07	
鉄筋	D10	kg	1.6	1.6	1.6	1.6	
鉄筋	D13	kg	4.0	4.0	4.0	4.0	
建築ブロック工		人	0.12	0.13	0.14	0.16	
普通作業員		人	0.06	0.07	0.08	0.11	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、建築用空洞ブロック、建築ブロック工及び普通作業員とする。

表 A1 - 8 - 3

コンクリートブロック化粧積み加算					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単位	片面	両面	備 考
建築ブロック工		人	0.025	0.05	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、建築ブロック工とする。

表 A1 - 8 - 4

防水立上り部(れんが押さえ)				(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単位	所要量	備 考
れんが	210×100×60mm 半枚積み	個	68	
セメント		kg	21.2	
細骨材	砂	m ³	0.05	
建築ブロック工		人	0.08	
普通作業員		人	0.04	
その他		式	1	

(注) 1. れんがの種類は、普通れんがとする。

2. 「その他」の率対象は、れんが、建築ブロック工及び普通作業員とする。

第9節 防 水

1 一般事項

- (1) 表A1-9-1、表A1-9-2の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表A1-9-3の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節の定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
防水における伸縮目地及び成形緩衝材に適用する。

- (2) 細目工種

表 A1 - 9 - 1

伸縮目地				(1 m 当たり)
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
成形伸縮目地材		m	1.05	
防 水 工		人	0.025	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、成形伸縮目地材及び防水工とする。

表 A1 - 9 - 2

成形緩衝材				(1 m 当たり)
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
成形緩衝材		m	1.05	
防 水 工		人	0.013	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、成形緩衝材及び防水工とする。

3 市場単価

（1）適用条件及び留意事項

- イ．屋根アスファルト防水、屋内アスファルト防水、防水入隅処理及びシーリングに適用する。
- ロ．アスファルト防水に成形緩衝材及び成形キャント材は含まない。
- ハ．アスファルト防水に防水入隅処理は含まない。
- ニ．防水下地がALCパネル、PC版等の場合の継目処理は含まない。
- ホ．アスファルト防水（AI-2）密着断熱工法は、断熱材を含む。
- ヘ．シーリングは、補助材（バックアップ材及びボンドブレイカー等）を含む。
- ト．シーリングの単価を使用する場合は、被着体の組み合わせに留意する。

（2）細目工種

表 A1 - 9 - 3

細目	摘要	単位	備考
屋根アスファルト防水	A-2 密着工法 平部	m ²	
屋根アスファルト防水	A-2 密着工法 立上り	m ²	
屋根アスファルト防水	AI-2 密着断熱工法 平部	m ²	
屋根アスファルト防水	B-1 絶縁工法 平部	m ²	
屋根アスファルト防水	B-1 絶縁工法 立上り	m ²	
屋根アスファルト防水	D-1 絶縁工法 平部	m ²	
屋根アスファルト防水	D-1 絶縁工法 立上り	m ²	
屋内アスファルト防水	E-1 密着工法 平部	m ²	
屋内アスファルト防水	E-1 密着工法 立上り	m ²	
防水入隅処理	コーナーキャント材（既製品）	m	
シーリング	PS-2ボ [®] リサルファイト [®] (2成分形) 幅10×深さ10	m	
シーリング	PS-2ボ [®] リサルファイト [®] (2成分形) 幅15×深さ10	m	
シーリング	PS-2ボ [®] リサルファイト [®] (2成分形) 幅20×深さ10	m	
シーリング	PU-2ボ [®] リウレタン (2成分形) 幅10×深さ10	m	
シーリング	PU-2ボ [®] リウレタン (2成分形) 幅15×深さ10	m	
シーリング	PU-2ボ [®] リウレタン (2成分形) 幅20×深さ10	m	
シーリング	MS-2変成シリコン (2成分形) 幅10×深さ10	m	
シーリング	MS-2変成シリコン (2成分形) 幅15×深さ10	m	
シーリング	MS-2変成シリコン (2成分形) 幅20×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン (1成分形) 幅10×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン (1成分形) 幅15×深さ10	m	
シーリング	SR-2シリコン (2成分形) 幅10×深さ10	m	
シーリング	SR-2シリコン (2成分形) 幅15×深さ10	m	

第 10 節 石

1 一般事項

本工種における単価及び価格の算定については、「第 1 編 総則」に基づき適切に算定する。

第 11 節 タ イ ル

1 一般事項

- (1) 表A1-11-1～表A1-11-7の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
 - イ. 床タイル張り及び内装壁タイル張りに適用する。
 - ロ. 張付けモルタルに混入する保水剤を含む。
 - ハ. タイルの洗い手間を含む。
 - ニ. 下地モルタルは、「第15節 左官」により別途計上する。

(2) 細目工種

表 A1 -11- 1

床タイル(一般床タイル張り)					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	100mm角	150mm角	備 考
床 タ イ ル		枚	102	45	
セ メ ン ト		kg	3.0	2.6	
細 骨 材	砂	m ³	0.004	0.004	
タ イ ル 工		人	0.22	0.19	
普 通 作 業 員		人	0.09	0.09	
そ の 他		式	1	1	

- (注) 1. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。
 2. 「その他」の率対象は、床タイル、タイル工及び普通作業員とする。

表 A1 -11- 2

床タイル(ユニットタイル張り)					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	100mm角	備 考	
床ユニットタイル		シート	11.5		
セメント		kg	4.4		
細骨材	砂	m ³	0.003		
タイル工		人	0.19		
普通作業員		人	0.07		
その他		式	1		

- (注) 1. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。
 2. 床ユニットタイルの1シート寸法は、300×300mmとする。
 3. 「その他」の率対象は、床ユニットタイル、タイル工及び普通作業員とする。

表 A1 -11- 3

床タイル(階段用タイル張り)					(1m当たり)
名 称	摘 要	単 位	100mm角	150mm角	備 考
床タイル	階段用	枚	10	7	
セメント		kg	0.2	0.3	
細骨材	砂	m ³	0.0004	0.0004	
タイル工		人	0.075	0.075	
普通作業員		人	0.025	0.025	
その他		式	1	1	

- (注) 1. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。
 2. 階段用タイルは、段鼻又は垂れ付き段鼻とする。
 3. 「その他」の率対象は、床タイル、タイル工及び普通作業員とする。

表 A1 -11- 4

床モザイクタイル(ユニットタイル張り)					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	25mm角	50mm角	備 考
モザイクユニットタイル		シート	11.5	11.5	
セメント		kg	5.2	4.0	
細骨材	砂	m ³	0.003	0.003	
タイル工		人	0.19	0.19	
普通作業員		人	0.07	0.07	
その他		式	1	1	

- (注) 1. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。
 2. モザイクユニットタイルの1シート寸法は、300×300mmとする。
 3. 「その他」の率対象は、モザイクユニットタイル、タイル工及び普通作業員とする。

表 A1 -11- 5

内装壁タイル(ユニットタイル 有機系接着剤による接着張り)						(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単位	モルタル面	ボード面	備 考	
			100mm角	100mm角		
内装ユニットタイル		シート	11.5	11.5		
有機系接着剤		kg	0.8	0.8		
白セメント		kg	0.12	0.12		
タイル工		人	0.18	0.18		
普通作業員		人	0.05	0.05		
その他		式	1	1		

- (注) 1. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。
 2. 内装ユニットタイルの1シート寸法は、300×300mmとする。
 3. 有機系接着剤は、タイプⅠ又はタイプⅡとする。
 4. 「その他」の率対象は、内装ユニットタイル、有機系接着剤、白セメント、タイル工及び普通作業員とする。

表 A1 -11- 6

内装壁モザイクタイル(ユニットタイル マスク張り)								(1㎡・1m当たり)
名 称	摘 要	単位	平物(㎡当たり)		役物(m当たり)			備 考
			50角平 45×45	50二丁平 95×45	50角曲がり (45+45)×45	50二丁曲がり (95+45)×45	50二丁屏風曲 95×(45+45)	
モザイクユニットタイル		シート	11.5	11.5	3.5	3.5	3.5	
セメント		kg	4.2	4.1	0.39	0.57	0.38	
細骨材	砂	m ³	0.003	0.003	0.0003	0.0005	0.0003	
タイル工		人	0.21	0.21	0.08	0.08	0.08	
普通作業員		人	0.1	0.1	0.022	0.022	0.022	
その他		式	1	1	1	1	1	

- (注) 1. 屏風曲りを水切り等の面台に使用する場合は、労務を各々の80%掛けとする。
 2. モザイクユニットタイルの1シート寸法は、300×300mmとする。
 3. 「その他」の率対象は、モザイクユニットタイル、タイル工及び普通作業員とする。

表 A1 -11- 7

内装壁モザイクタイル(ユニットタイル モザイクタイル張り)					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単位	25mm角	備 考	
モザイクユニットタイル		シート	11.5		
セメント		kg	4.4		
細骨材	砂	m ³	0.003		
タイル工		人	0.21		
普通作業員		人	0.07		
その他		式	1		

- (注) 1. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。
 2. モザイクユニットタイルの1シート寸法は、300×300mmとする。
 3. 「その他」の率対象は、モザイクユニットタイル、タイル工及び普通作業員とする。

第12節 木 工

1 一般事項

- (1) 表A1-12-1～表A1-12-6の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
鉄筋コンクリート造等の内装木工に適用する。なお、集成材等を使用する場合は適用しない。

- (2) 細目工種

表 A1 -12- 1

間仕切軸組				(壁面1㎡当たり)	
名 称	摘 要	単 位	間仕切軸組	備	考
く	ぎ	kg	0.018		
金	物	kg	0.22		
大	工	人	0.09		
普	通	人	0.02		
そ	の	式	1		
他					

(注) 1. 「その他」の率対象は、大工及び普通作業員とする。

表 A1 -12- 2

床組及び床板張り							(床面1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	つか立て床組 床づか 根がらみ 大引き 根太等	ころばし床組 大引き 根太等	縁 甲 板	畳下床板 合 板 厚さ12mm	備 考
く	ぎ	kg	0.06	0.032	0.1	0.03	
金	物	kg	—	0.11	—	—	
大	工	人	0.13	0.08	0.12	0.028	
普	通	人	0.02	0.012	0.016	0.008	
そ	の	式	1	1	1	1	
他							

(注) 1. 「その他」の率対象は、大工及び普通作業員とする。

表 A1 -12- 3

壁下地組、下地板張り及び合板張り							(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	胴 縁 (@450mm)	壁木ずり	壁下地板 (ラス下地)	壁合板 (胴縁を含まない)	備 考
く ぎ		kg	0.055	0.055	0.055	0.03	
大 工		人	0.05	0.058	0.055	0.06	
普通作業員		人	0.006	0.008	0.008	0.006	
そ の 他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、大工及び普通作業員とする。

表 A1 -12- 4

天井下地組及び屋根下地板張り					(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	天井下地 (吊木共)	野 地 板	備 考
く ぎ		kg	0.05	0.055	
大 工		人	0.1	0.027	
普通作業員		人	0.01	0.005	
そ の 他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、大工及び普通作業員とする。

表 A1 -12- 5

建具枠回り			(1か所当たり・額縁(窓出入口)1m当たり)					
名称	摘要	単位	額 縁 (窓 出入口)	窓 枠 (引違い)	出入口枠 (片開き)	出入口枠 (両開き)	出入口枠 (片開き 欄間付き用)	出入口枠 (両開き 欄間付き用)
				幅 高さmm 1,800×1,200	幅 高さmm 900×2,000	幅 高さmm 1,600×2,000	幅 高さmm 900×2,500	幅 高さmm 1,600×2,500
く ぎ		kg	0.017	—	—	—	—	—
金 物		kg	—	0.5	0.45	0.5	0.55	0.6
大 工		人	0.04	0.9	0.7	0.8	0.85	0.95
普通作業員		人	0.01	0.1	0.1	0.15	0.12	0.18
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1

- (注) 1. 窓枠は、欄間及び額縁を含まない。
 2. 出入口枠は、くつずりまでを含み、欄間、額縁及び無目を含まない。
 3. 「その他」の率対象は、大工及び普通作業員とする。

表 A1 -12- 6

幅木				(1m当たり)
名 称	摘 要	単 位	幅 木 120×18mm	備 考
く	ぎ	kg	0.02	
大	工	人	0.065	
普 通 作 業 員		人	0.007	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、大工及び普通作業員とする。

第13節 屋根及びとい

1 一般事項

- (1) 表A1-13-1～表A1-13-8の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

(1) 適用条件及び留意事項

- イ. とい及びルーフトレンに適用する。
- ロ. といの付属金物には、一般的な取付工法で用いる支持金物、留付け金物及び継手等を含む。

(2) 細目工種

表 A1 -13- 1

ルーフトレン						(1か所当たり)	
名称	摘要	単位	径50～80mm	径100～150mm	備考		
ルーフトレン		個	1	1			
型わく工		人	0.09	0.1			
左官		人	0.09	0.1			
その他		式	1	1			

- (注) 1. ルーフトレンは屋上用縦引き・横引き及び中継用とする。
 2. 「その他」の率対象は、ルーフトレン、型わく工及び左官とする。

表 A1 -13- 2

鋼管とい									(1m当たり)
名称	摘要	単位	径50mm	径65mm	径80mm	径100mm	径125mm	径150mm	備考
配管用鋼管	白管	m	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	材料費の60%
付属金物		式	1	1	1	1	1	1	
配管工		人	0.10	0.13	0.15	0.18	0.25	0.30	
普通作業員		人	0.02	0.02	0.03	0.04	0.05	0.06	
その他		式	1	1	1	1	1	1	

- (注) 1. 鋼管とい塗装は表A1-13-8による。
 2. 「その他」の率対象は、配管用鋼管、付属金物、配管工及び普通作業員とする。

表 A1 -13- 3

硬質ポリ塩化ビニル管とい (1m当たり)									
名 称	摘 要	単 位	径50mm	径65mm	径75mm	径100mm	径125mm	径150mm	備 考
硬質ポリ塩化ビニル管		m	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	材料費の70%
付 属 金 物		式	1	1	1	1	1	1	
板 金 工		人	0.040	0.049	0.054	0.063	0.072	0.081	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、硬質ポリ塩化ビニル管、付属金物及び板金工とする。

表 A1 -13- 4

鋼管とい掃除口 (1か所当たり)											
名 称	摘 要	単 位	床下掃除口				床上掃除口				備 考
			径80	径100	径125	径150	径80	径100	径125	径150	
床 下 掃 除 口		個	1	1	1	1	—	—	—	—	本体+継手の3%
床 上 掃 除 口		個	—	—	—	—	1	1	1	1	
90° 大曲りY継手		個	1	1	1	1	1	1	1	1	
90° 曲 継 手		個	—	—	—	—	1	1	1	1	
接 合 材		式	1	1	1	1	1	1	1	1	
配 管 工		人	0.11	0.13	0.15	0.18	0.29	0.32	0.35	0.38	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	1	1	

(注) 1. 床上掃除口は非防水形とする。

2. 「その他」の率対象は、床下掃除口、床上掃除口、90° 大曲りY継手、90° 曲継手、接合材及び配管工とする。

表 A1 -13- 5

鋼管とい防露巻き（一般の屋内露出部） (1m当たり)									
名 称	摘 要	単 位	径50mm	径65mm	径80mm	径100mm	径125mm	径150mm	備 考
保 温 筒	厚20	m	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	管径に応じた材料とする
粘 着 テ ー プ		m	4.2	4.5	4.7	5.4	5.9	6.4	
合 成 樹 脂 カ バ ー	厚0.3	m ²	0.49	0.55	0.60	0.75	0.85	0.95	材料費の5%
カ バ ー ピ ン		個	12	12	12	12	12	12	
雑 材 料		式	1	1	1	1	1	1	
保 温 工		人	0.051	0.057	0.062	0.083	0.102	0.119	
ダ ク ト 工		人	0.030	0.033	0.036	0.045	0.051	0.057	(材料費+雑材料費)の3%
運 搬 費		式	1	1	1	1	1	1	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、保温筒、粘着テープ、合成樹脂カバー、カバーピン、雑材料、保温工、ダクト工及び運搬費とする。

表 A1 -13- 6

鋼管とい防露巻き（天井内等）									(1m当たり)
名 称	摘 要	単位	径50mm	径65mm	径80mm	径100mm	径125mm	径150mm	備 考
保 温 筒	厚20	m	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	管径に応じた材料とする
粘 着 テ ー プ		m	2.7	2.8	2.8	2.9	3.0	3.1	
ビニルテープ	幅100	m	4.9	-	-	-	-	-	
ビニルテープ	幅125	m	-	4.3	4.8	5.7	-	-	
ビニルテープ	幅150	m	-	-	-	-	5.4	6.1	
雑 材 料		式	1	1	1	1	1	1	
保 温 工		人	0.088	0.094	0.10	0.13	0.16	0.18	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、保温筒、粘着テープ、ビニルテープ、雑材料及び保温工とする。

表 A1 -13- 7

鋼管とい防露巻き（厨房・浴室内等）									(1m当たり)
名 称	摘 要	単位	径50mm	径65mm	径80mm	径100mm	径125mm	径150mm	備 考
保 温 筒	厚20	m	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	管径に応じた材料とする
粘 着 テ ー プ		m	2.7	2.8	2.8	2.9	3.0	3.1	
アスファルトルーフィングフェルト		m ²	0.37	0.43	0.48	0.58	0.67	0.77	
ステンレス鋼板	厚0.2	m ²	0.49	0.55	0.60	0.71	0.81	0.91	ラッキング用
雑 材 料		式	1	1	1	1	1	1	材料費の5%
保 温 工		人	0.078	0.084	0.093	0.12	0.14	0.16	
板 金 工		人	0.14	0.15	0.17	0.20	0.22	0.25	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、保温筒、粘着テープ、アスファルトルーフィングフェルト、ステンレス鋼板、雑材料、保温工及び板金工とする。

表 A1 -13- 8

鋼管とい塗装									(1m当たり)
名 称	摘 要	単位	径50mm	径65mm	径80mm	径100mm	径125mm	径150mm	備 考
一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント	JPMS 28	kg	0.019	0.025	0.03	0.038	0.047	0.057	
研 磨 紙	P120~400	枚	0.011	0.014	0.018	0.022	0.027	0.033	
合成樹脂調合ペイント	JIS K5516	kg	0.027	0.035	0.043	0.053	0.067	0.08	
塗 装 工		人	0.014	0.018	0.023	0.028	0.035	0.042	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率は、第1編 総則 表3-1-1建築工事の「塗装」による。

2. 「その他」の率対象は、一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント、研磨紙、合成樹脂調合ペイント及び塗装工とする。

第14節 金 属

1 一般事項

- (1) 表A1-14-1～表A1-14-4の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表A1-14-5の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

(1) 適用条件及び留意事項

下地ラス張り（壁）、軽量鉄骨天井下地のインサート、マンホールふた、床点検口、天井点検口及びコーナー金物に適用する。

(2) 細目工種

表 A1 -14- 1

下地ラス張り (1㎡当たり)				
名 称	摘 要	単 位	メタルラス 張 り (平ラス)	備 考
ラ		㎡	1.1	
特殊作業員		人	0.03	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、ラス及び特殊作業員とする。

表 A1 -14- 2

天井インサート (1㎡当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
インサート		本	1.5	
特殊作業員		人	0.005	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、インサート及び特殊作業員とする。

表 A1 -14- 3

マンホールふた及び点検口 (1か所当たり)						
名 称	摘 要	単 位	マンホール ふ た 径400~500mm	点 検 口		備 考
				床 450~600角	天井 450角	
マンホールふた		個	1	—	—	
点 検 口		個	—	1	1	
配 管 工		人	0.25	—	—	
左 官		人	0.1	0.05	—	
内 装 工		人	—	0.1	0.15	
そ の 他		式	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、マンホールふた、点検口、配管工、左官及び内装工とする。

表 A1 -14- 4

コーナー金物 (1m当たり)					
名 称	摘 要	単 位	コーナボード (モルタル用)	目地ジョイナー (ボード用)	備 考
左 官		人	0.025	—	
内 装 工		人	—	0.025	
そ の 他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、金物、左官及び内装工とする。

3 市場単価

(1) 適用条件及び留意事項

- イ. 軽量鉄骨壁下地及び軽量鉄骨天井下地に適用する。
- ロ. 軽量鉄骨天井下地は、天井インサートを含まない。
- ハ. 下記の天井下地には適用しない。
 - ①国土交通省告示第771号に定める特定天井
 - ②天井面構成部材等の単位面積当たりの質量が20kg/m²を超える天井
 - ③水平でない天井
 - ④システム天井

（2）細目工種

表 A1 -14- 5

細目	摘要	単位	備考
軽量鉄骨壁下地	スタッド50形 @300 スタッド高さ H≤2.7m 直張り用	m ²	
軽量鉄骨壁下地	スタッド50形 @450 スタッド高さ H≤2.7m 下地張りあり	m ²	
軽量鉄骨壁下地	スタッド65形 @300 スタッド高さ H≤4.0m 直張り用	m ²	
軽量鉄骨壁下地	スタッド65形 @450 スタッド高さ H≤4.0m 下地張りあり	m ²	
軽量鉄骨壁下地	スタッド90形 @300 スタッド高さ 4.0<H≤4.5m 直張り用	m ²	
軽量鉄骨壁下地	スタッド90形 @450 スタッド高さ 4.0<H≤4.5m 下地張りあり	m ²	
軽量鉄骨壁下地	スタッド100形 @300 スタッド高さ 4.5<H≤5.0m 直張り用	m ²	
軽量鉄骨壁下地	スタッド100形 @450 スタッド高さ 4.5<H≤5.0m 下地張りあり	m ²	
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁19形 @225 ふところ高 1.5m未満 直張り用	m ²	
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁19形 @300 ふところ高 1.5m未満 直張り用	m ²	
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁19形 @360 ふところ高 1.5m未満 下地張りあり	m ²	
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁25形 @300 ふところ高 1.0m未満	m ²	
屋内軽量鉄骨下がり壁下地	野縁19形 H300～500程度	m	
屋外軽量鉄骨下がり壁下地	野縁25形 H300～500程度	m	
屋内天井下地補強	ふところ高 1.5m～3.0m	m ²	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 65形 900×2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 65形 1800×2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 90形 900×2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 90形 1800×2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 65形 300×600mm程度	か所	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 65形 450×900mm程度	か所	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 90形 300×600mm程度	か所	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 90形 450×900mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁19形 300×300mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁19形 450×450mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁19形 600×600mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁19形 300×1200mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁19形 300×3600mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁25形 450×450mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボート等切込み共 野縁25形 600×600mm程度	か所	

第 15 節 左 官

1 一般事項

- (1) 表A 1－1 5－1 の細目工種は、市場単価を適用する。
- (2) 本節に定める市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第 1 編 総則」に基づき適切に算定する。

2 市場単価

- (1) 適用条件及び留意事項
 - イ. コンクリート直均し、各種モルタル塗り、建具廻りモルタル詰め、防水入隅処理及び各種吹付けに適用する。
 - ロ. 一般的な混和剤、目地棒及び定規等の補助材を含む。
 - ハ. 柱型モルタル塗り及びはり型モルタル塗りは、出隅等のコーナー成形処理費を含む。

（2）細目工種

表 A1 -15- 1

細目	摘要	単位	備考
床コンクリート面直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ 薄張物下地【手間のみ】	m ²	
床コンクリート面直均し仕上げ	金ごて 防水下地 厚張物下地【手間のみ】	m ²	
床モルタル塗り	金ごて 厚28mm 張物下地	m ²	
床モルタル塗り	木ごて 厚37mm 一般タイル下地	m ²	
床モルタル塗り	金ごて 厚15mm 防水下地	m ²	
階段モルタル塗り	金ごて 厚28mm 張物下地	m ²	
幅木モルタル塗り	金ごて 高100mm 出幅木	m	
幅木モルタル塗り	金ごて 高100mm 目地用 ジョイナー共	m	
ささら幅木モルタル塗り	金ごて 高150mm 出幅木	m	
壁モルタル塗り	金ごて 厚20mm 内壁 3回塗り	m ²	
柱型モルタル塗り	金ごて 厚20mm 3回塗り	m ²	
はり型モルタル塗り	金ごて 厚20mm 3回塗り	m ²	
壁モルタル塗り	木ごて 厚16mm 外壁小口タイル下地 2回塗り	m ²	
壁モルタル塗り	木ごて 厚20mm 外壁エッジタイル下地 2回塗り	m ²	
壁モルタル塗り	木ごて 厚11mm 内壁小口タイル下地 2回塗り	m ²	
壁モルタル塗り	木ごて 厚15mm 内壁エッジタイル下地 2回塗り	m ²	
壁薄塗モルタル塗り	金ごて 厚5mm 既調合品	m ²	
柱薄塗モルタル塗り	金ごて 厚5mm 既調合品	m ²	
はり薄塗モルタル塗り	金ごて 厚5mm 既調合品	m ²	
笠木天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 幅300mm 【手間のみ】	m	
水切りモルタル塗り	金ごて 糸幅200mm 厚30mm	m	
手摺笠木モルタル塗り	金ごて 糸幅200mm 厚30mm	m	
側溝モルタル塗り	金ごて 糸幅200mm 厚30mm	m	
建具周囲モルタル充填	内部建具	m	
建具周囲防水モルタル充填	外部建具	m	
防水入隅処理(モルタル)	立上り入隅面取り幅70mm程度	m	
外装薄塗材E(アクリルシン)	砂壁状 吹付け 下塗1(0)回・主材塗2回	m ²	
可とう形外装薄塗材E(弾性シン)	砂壁状 吹付け 下塗1回・主材塗2回	m ²	
防水形外装薄塗材E(単層弾性)	凹凸状 吹付け 下塗1回・増塗1回・基層塗1回・主材塗2回	m ²	
内装薄塗材E(じゅらく)	砂壁状 吹付け 下塗1回・主材塗2回	m ²	
複層塗材E(アクリルタイル)	凹凸状 吹付け 下塗1回・基層塗1回・模様塗1回・上塗2回	m ²	
複層塗材E(アクリルタイル)	凸部処理 吹付け 下塗1回・基層塗1回・模様塗1回・上塗2回	m ²	
複層塗材E(アクリルタイル)	ゆず肌状 ローラー塗り 下塗1回・主材塗1～2回・上塗2回	m ²	
複層塗材RE(エポキシタイル)	凹凸状 吹付け 下塗1回・基層塗1回・模様塗1回・上塗2回	m ²	
複層塗材RE(エポキシタイル)	凸部処理 吹付け 下塗1回・基層塗1回・模様塗1回・上塗2回	m ²	
複層塗材RE(エポキシタイル)	ゆず肌状 ローラー塗り 下塗1回・主材塗1～2回・上塗2回	m ²	

細目	摘要	単位	備考
複層塗材Si(シリカタイル)	凹凸状 吹付け 下塗1回・基層塗1回・模様塗1回・上塗2回	m ²	
複層塗材Si(シリカタイル)	凸部処理 吹付け 下塗1回・基層塗1回・模様塗1回・上塗2回	m ²	
複層塗材Si(シリカタイル)	ゆず肌状 ロール塗り 下塗1回・主材塗1～2回・上塗2回	m ²	
防水形複層塗材E(複層弾性)	凹凸状 吹付け 下塗1回・増塗1回・基層塗2回・模様塗1回・上塗2回	m ²	
防水形複層塗材E(複層弾性)	凸部処理 吹付け 下塗1回・増塗1回・基層塗2回・模様塗1回・上塗2回	m ²	
防水形複層塗材E(複層弾性)	ゆず肌状 ロール塗り 下塗1回・増塗1回・基層塗2回・模様塗1回・上塗2回	m ²	
下地調整塗材C-1	吹付け	m ²	
下地調整塗材C-2	こて塗り 厚1～2mm程度 吹付下地 コンクリート面	m ²	
下地調整塗材C-2	こて塗り 厚1～2mm程度 塗装下地 コンクリート面	m ²	
合成樹脂エマルジョンシーラー	吹付け	m ²	
下地調整塗材E	吹付け	m ²	

注) 外装薄塗材E（アクリルリシン）について、下塗材を省略又は専用の下地調整材を用いる場合は、仕上塗材製造所の指定による。

第16節 建 具

1 一般事項

- (1) 表A1-16-1～表A1-16-6の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表A1-16-7の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 建具寸法は、有効内法寸法とする。
- (5) 金属製建具はアルミニウム製建具、樹脂製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具及びシャッター等に区分し、製品代、取付費及び運搬費に分けて計上する。
- (6) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
 - イ. 木製建具及びガラス清掃に適用する。
 - ロ. 木製建具の建具枠は、第12節による。

（2）細目工種
（木製建具）

表 A1 -16- 1

開きフラッシュ戸取付け			(1か所当たり)			
名 称	摘 要	単 位	片開き 幅 高さmm 800×1,800	両開き 幅 高さmm 1,600×1,800	便所片開き 幅 高さmm 600×1,800	備 考
建 具		枚	(1)	(2)	(1)	
丁 番		枚	2	4	—	
戸当り、あおり止め		個	1	1	—	
箱 錠		個	1	1	—	
上 げ 落 し		個	—	1	—	
ラバトリーヒンジ		組	—	—	1	
表示付き空錠		個	—	—	1	
帽子掛け戸当り		個	—	—	1	
建 具 工		人	0.15	0.3	0.13	
そ の 他		式	1	1	1	

(注)1. 丁番は、建具の高さが2,000mm以上2,400mm以下の場合、片開きにおいては3枚、両開きにおいては6枚とする。

2. 「その他」の率対象は、建具工とする。

表 A1 -16- 2

引違い戸及び引違い窓取付け			(1か所当たり)			
名 称	摘 要	単 位	引違い戸 幅 高さmm 1,700×1,800	引違い窓 幅 高さmm 1,700×1,350	備 考	
建 具		枚	(2)	(2)		
レ ー ル		本	2	2		
引 き 手		個	4	4		
ね じ 締 り		組	1	1		
戸 車		個	4	4		
建 具 工		人	0.1	0.09		
そ の 他		式	1	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、建具工とする。

表 A1 -16- 3

開き窓及び回転窓取付け					(1か所当たり)
名 称	摘 要	単位	開き窓 幅 高さmm 1,500×1,200	回転窓 幅 高さmm 800×550	備 考
建 具		枚	(2)	(1)	
丁 番		枚	4	—	
あ お り 止 め		個	2	—	
上 げ 落 し		個	1	—	
窓 締 り		組	1	—	
回 転 軸		組	—	2	
キ ャ ッ チ		個	—	1	
ひ も 掛 け		個	—	1	
建 具 工		人	0.2	0.15	
そ の 他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、建具工とする。

表 A1 -16- 4

引違いふすま、障子及び片開きふすま取付け						(1か所当たり)
名 称	摘 要	単位	引違いふすま 幅 高さmm 1,750×1,800	引違い障子 幅 高さmm 1,750×1,800	片開きふすま 幅 高さmm 900×1,800	備 考
建 具		枚	(2)	(2)	(1)	
引 き 手		個	4	—	—	押入用ふすまの場合は2個とする
丁 番		枚	—	—	2	
把 手		個	—	—	1	押入用ふすまの場合
キ ャ ッ チ		個	—	—	1	
建 具 工		人	0.1	0.13	0.08	
そ の 他		式	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、建具工とする。

表 A1 -16- 5

ドアクローザ取付け				(1か所当たり)
名 称	摘 要	単位	ドアクローザ	備 考
ドアクローザ		個	(1)	
建 具 工		人	0.09	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、建具工とする。

（ガラス）

表 A1 -16- 6

ガラス清掃				(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	ガラス清掃	備 考
普通作業員		人	0.017	ガラス両面
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

3 市場単価

(1) 適用条件及び留意事項

- イ. ガラス及びガラスとめシーリングについて適用する。
- ロ. ガラスとめシーリングは足場作業とし、片側m当たり単価とする。

(2) 細目工種

表 A1 -16- 7

細 目	摘 要	単 位	備 考
型板ガラス	厚4mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
網入型板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚5mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚5mm 特寸4.45㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚6mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚6mm 特寸4.45㎡以下	㎡	
網入磨き板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL5+A6+FL5 特寸2.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL5+A6+PW6.8 特寸2.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚8mm 特寸2.0㎡以下	㎡	
ガラスとめシーリング	片面5×5 ハックアップ材共 シリコン系 1成分形	m	

第17節 塗 装

1 一般事項

- (1) 表A1-17-1の細目工種は、市場単価を適用する。
- (2) 本節に定める市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 市場単価

- (1) 適用条件及び留意事項
 - イ. 錆止め塗り、仕上げ塗り及び素地ごしらえに適用する。
 - ロ. 錆止め塗りの単価は、現場1回塗りの単価とする。
 - ハ. 仕上塗りで、下地が鉄鋼面、亜鉛めっき鋼面及び鋼製建具面の単価は、錆止め塗りを含まない。
 - ニ. 仕上塗りで、下地が木部、モルタル面、せっこうボード及びけい酸カルシウム板面の単価は、素地ごしらえを含む。

（2）細目工種

表 A1 -17- 1

細目	摘 要		単位	備 考
	下地種類等	塗装種別 作業工程		
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内外）	A種 A種	m ²	
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内）	B種 A種	m ²	
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼・鋼製建具面（屋内外）	A種 A種	m ²	
SOP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面（屋内外）	1種 B種	m ²	
SOP塗り	（素地ごしらせA種共）木部（屋内）	1種 B種	m ²	
EP塗り	（素地ごしらせB種共）せっこうボード面		B種 m ²	
EP塗り	（素地ごしらせB種共）けい酸カルシウム板・モルタル面		B種 m ²	
DP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面	1級	m ²	
CL塗り	（素地ごしらせB種共）木部		B種 m ²	
OS塗り	（素地ごしらせB種共）木部		m ²	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 （素地ごしらせA種共）木部（屋内）	1種 B種	m	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 （錆止め現場1回共）鉄鋼面（屋内）		B種 m	
CL塗り	細幅物糸幅300mm以下 （素地ごしらせB種共）木部		B種 m	
OS塗り	細幅物糸幅300mm以下 （素地ごしらせB種共）木部		m	
素地ごしらせ	木部（屋内）		A種 m ²	
素地ごしらせ	せっこうボード面		B種 m ²	
素地ごしらせ	けい酸カルシウム板・モルタル面		B種 m ²	
素地ごしらせ	押出成形セメント板面		B種 m ²	

第18節 内外装

1 一般事項

- (1) 表A1-18-1～表A1-18-8の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表A1-18-9の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

(1) 適用条件及び留意事項

- イ. 畳敷き、フローリングボード張り、木毛セメント板打込み、断熱材張り、断熱材打込み、壁紙張り及び壁紙素地ごしらえについて適用する。
- ロ. 畳敷きは、畳の現場採寸を含む。

(2) 細目工種

表 A1 -18- 1

畳敷き (1枚当たり)					
名称	摘要	単位	一畳	半畳	備考
畳		枚	1	1	
特殊作業員		人	0.05	0.04	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、畳及び特殊作業員とする。

表 A1 -18- 2

フローリングボード張り (1㎡当たり)					
名称	摘要	単位	所要量	備考	
フローリングボード		㎡	1.05		
くぎ		kg	0.11		
内装工		人	0.13		
普通作業員		人	0.018		
その他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、フローリングボード、くぎ、内装工及び普通作業員とする。

表 A1 -18- 3

木毛セメント板打込み、断熱材張り及び打込み							(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	壁		天井		備 考
			断 熱 材 打 込 み	断 熱 材 張 り	断 熱 材 打 込 み	木毛セメント板 打 込 み	
木毛セメント板		㎡	—	—	—	1.05	
断 熱 材		㎡	1.05	1.05	1.05	—	
く ぎ		kg	0.01	—	0.01	0.05	
セ メ ン ト		kg	—	7.0	—	—	
接 着 剤	断熱材用	kg	—	0.5	—	—	
型 わ く 工		人	0.027	—	0.02	0.033	
内 装 工		人	—	0.033	—	—	
普 通 作 業 員		人	0.013	0.017	0.01	0.017	
そ の 他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、木毛セメント板、断熱材、くぎ、接着剤、型わく工、内装工及び普通作業員とする。

表 A1 -18- 4

壁紙張り							(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	壁		天井		備 考
			織物、紙程度	プラスチック程度	織物、紙程度	プラスチック程度	
壁 紙		㎡	1.05	1.05	1.05	1.05	
接 着 剤	壁紙用	kg	0.18	0.18	0.18	0.18	
内 装 工		人	0.05	0.025	0.055	0.028	
そ の 他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 素地ごしらを別途加算する。
2. 「その他」の率対象は、壁紙、接着剤及び内装工とする。

表 A1 -18- 5

壁紙素地ごしらえ（モルタル面）				(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	B 種	備 考
合 成 樹 脂 エマルジョンシーラー	壁紙用	kg	0.1	
合 成 樹 脂 エマルジョンパテ	壁紙用	kg	0.04	
研 磨 紙	P120～220	枚	0.03	
内 装 工		人	0.012	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、合成樹脂エマルジョンシーラー、合成樹脂エマルジョンパテ、研磨紙及び内装工とする。

表 A1 -18- 6

壁紙素地ごしらえ（せっこうボード面）					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	B 種	備 考	
せっこうボード用 目地処理剤	ジョイント コンパウンド	kg	0.02		
研 磨 紙	P120～220	枚	0.03		
内 装 工		人	0.004		
そ の 他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、せっこうボード用目地処理剤、研磨紙及び内装工とする。

表 A1 -18- 7

壁紙素地ごしらえ（けい酸カルシウム板面）					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	B 種	備 考	
反応形合成樹脂シーラ ーおよび弱溶剤系反応形 合成樹脂シーラー	JASS18 M-201	kg	0.1		
合 成 樹 脂 エマルジョンパテ	壁紙用	kg	0.02		
研 磨 紙	P120～220	枚	0.03		
内 装 工		人	0.01		
そ の 他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー、合成樹脂エマルジョンパテ、研磨紙及び内装工とする。

表 A1 -18- 8

壁紙素地ごしらえ（コンクリート面）					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	B 種	備 考	
建築用下地調整塗材	JIS A6916	kg	1.1		
研 磨 紙	P120～220	枚	0.03		
シ ー ラ ー	壁紙用	kg	0.07		
左 官		人	0.015		
内 装 工		人	0.004		
そ の 他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、建築用下地調整塗材、研磨紙、シーラー、左官及び内装工とする。

3 市場単価

(1) 適用条件及び留意事項

- イ. 内装床及び内装ボード張りに適用する。
- ロ. ビニル床シート張りは、熱溶接工法とする。
- ハ. ビニル床シート及びビニル床タイルの接着剤は、床仕上げ材用接着剤（エポキシ樹脂系は除く）とする。
- ニ. ビニル床シート及びビニル床タイルの施工後の水拭き清掃は単価に含む。
- ホ. タイルカーペットは全面接着工法とし、粘着はく離材形接着剤とする。

(2) 細目工種

表 A1 -18- 9

細目	摘要	単位	備考
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m ²	
階段ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m ²	
階段ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m ²	
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジションビニル床タイル KT	m ²	
階段ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジションビニル床タイル KT	m ²	
床タイルカーペット張り	総厚6.5mm 500角 第一種ループパイル(一般事務室用)	m ²	
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H60mm	m	
ささらビニル幅木 (ソフト幅木)	H330mm	m	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け 下地せっこうボード厚12.5mm共	m ²	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け GL工法	m ²	
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け	m ²	
天井 不燃化粧せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け	m ²	
壁 けい酸カルシウム板張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	厚8.0mm 不燃 突付け	m ²	
壁 けい酸カルシウム板張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	厚8.0mm 不燃 目透し	m ²	
天井 けい酸カルシウム板張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	厚6.0mm 不燃 突付け	m ²	
天井 けい酸カルシウム板張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	厚6.0mm 不燃 目透し	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り (内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm共	m ²	
天井 ロックウール吸音板張り (内部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm共	m ²	
せっこうボード継目処理	継目処理工法 (テーパージェット)	m ²	
せっこうボード継目処理	V目地工法 (ハベルエッジ)	m ²	

第 19 節 仕上ユニット

1 一般事項

- (1) 表A1-19-1～表A1-19-4の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
床目地棒、階段滑り止め、室名札及び厨房器具の取付に適用する。

- (2) 細目工種

表 A1 -19- 1

床目地棒 (1m当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
床 目 地 棒		m	1.0	
左 官		人	0.025	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、左官とする。

表 A1 -19- 2

階段滑り止め (1m当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
階 段 滑 り 止 め		m	1.0	
接 着 剤		kg	0.015	
左 官		人	0.05	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、左官とする。

表 A1 -19- 3

室名札 (1か所当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
室 名 札		個	1	
内 装 工		人	0.06	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、内装工とする。

表 A1 -19- 4

厨房器具							(1台当たり)
名 称	摘 要	単 位	流 し 台 L=1,800mm 程 度	コンロ台 L=600~700mm 程 度	水 切 棚 L=1,200mm 程 度	吊 戸 棚 L=1,200mm 程 度	備 考
厨 房 器 具		個	1	1	1	1	
大 工		人	—	—	0.1	0.3	
特 殊 作 業 員		人	0.3	0.15	—	—	
そ の 他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、大工及び特殊作業員とする。

第 20 節 排水

1 一般事項

- (1) 本節は、公共建築工事標準仕様書の街きょ、縁石及び側溝を設置する工事に適用する。
- (2) 本節における単価及び価格の算定については、「第 1 編 総則」に基づき適切に算定する

第21節 構内舗装

1 一般事項

- (1) 表A1-21-1～表A1-21-17の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 養生、清掃及び後片付け等は、別途計上する。
- (4) 舗装機械は、排出ガス対策型とする。また、舗装機械運搬費は別途計上する。
- (5) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

(1) 適用条件及び留意事項

- イ. 構内のアスファルト舗装及び舗装機械運搬に適用する。
- ロ. 舗装面積は、2,500㎡未満とする。
- ハ. 材料費は、表A1-21-1～表A1-21-3の材料使用量により別途計上する。
- ニ. 材料費及び施工費の組合せは、表A1-21による。

（2）細目工種

表 A1 -21

アスファルト舗装				(100㎡当たり)
名称	適用	単位	標準歩掛り	備考
【材料費】				
路盤材		m ³	A1-21-1	
加熱アスファルト混合物		t	A1-21-2	
プライムコート		L	A1-21-3	
その他		式	1	
【施工費】				
路床整正		㎡	A1-21-4	
路盤材敷きならし		㎡	A1-21-5～7	
路盤材締固め		㎡	A1-21-8～10	
プライムコート散布		㎡	A1-21-11	
アスファルト混合物敷きならし		㎡	A1-21-12～13	
アスファルト混合物締固め		㎡	A1-21-14	

（注） 1. 【材料費】の「その他」の対象は、路盤材、加熱アスファルト混合物及びプライムコートとする。

表 A1 -21- 1

路盤材						(m ³ /100m ²)
名称	摘 要	車道部			歩道部	備 考
		10cm	15cm	20cm	10cm	
切 込 砂 利		12.50	18.75	25.00	11.90	
再生クラッシュラン	R C-40	12.90	19.35	25.80	12.20	
クラッシュラン	C-40	12.90	19.35	25.80	12.20	
再生粒調碎石		13.20	19.80	26.40	12.50	
粒 調 碎 石		13.20	19.80	26.40	12.50	

表 A1 -21- 2

加熱アスファルト混合物 (t /100m ²)					
名 称	摘 要	車道部		歩道部	備 考
		3cm	5cm	3cm	
再生密粒度アスファルト		7.24	12.07	6.93	
密粒度アスファルト		7.24	12.07	6.93	
再生細粒度アスファルト		6.93	11.55	6.77	
細粒度アスファルト		6.93	11.55	6.77	

表 A1 -21- 3

プライムコート (L/100m ²)				
名 称	摘 要	車道部	歩道部	備 考
プライムコート	PK-3	153	153	

表 A1 -21- 4

路床整正 (100m ² 当たり)							
名 称	摘 要	単 位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500m ² 未満	500m ² 以上 1,000m ² 未満	1,000m ² 以上 2,500m ² 未満	
モータグレーダ運転	油圧式3.1m級	日	—	0.078	0.066	0.052	
普通作業員		人	1	0.46	0.37	0.28	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. かき起こし敷きならし合成作業及び補足材なしの場合とする。

2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 -21- 5

路盤材敷きならし(厚さ10cm) (100m ² 当たり)							
名 称	摘 要	単 位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500m ² 未満	500m ² 以上 1,000m ² 未満	1,000m ² 以上 2,500m ² 未満	
モータグレーダ運転	油圧式3.1m級	日	—	0.085	0.07	0.056	
普通作業員		人	4.20	1.76	1.35	0.94	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 -21- 6

路盤材敷きならし（厚さ15cm）							（100㎡当たり）
名 称	摘 要	単位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満	
モータグレーダ運転	油圧式3.1m級	日	—	0.085	0.07	0.056	
普通作業員		人	5.7	2.36	1.8	1.24	
その他		式	1	1	1	1	

（注）1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 -21- 7

路盤材敷きならし（厚さ20cm）							（100㎡当たり）
名 称	摘 要	単位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満	
モータグレーダ運転	油圧式3.1m級	日	—	0.085	0.07	0.056	
普通作業員		人	7.8	3.2	2.43	1.66	
その他		式	1	1	1	1	

（注）1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 -21- 8

路盤材締固め（厚さ10cm）							（100㎡当たり）
名 称	摘 要	単位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満	
タンパ運転	60～80kg	日	0.63	0.5	—	—	
振動ローラ運転	2.4～2.8t	日	0.29	0.35	0.17	0.12	
タイヤローラ運転	8～20t	日	—	—	0.069	0.056	
ロードローラ運転	マカダム10t	日	—	—	0.071	0.058	

表 A1 -21- 9

路盤材締固め（厚さ15cm）							（100㎡当たり）
名 称	摘 要	単位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満	
タンパ運転	60～80kg	日	0.68	0.55	—	—	
振動ローラ運転	2.4～2.8t	日	0.4	0.48	0.24	0.16	
タイヤローラ運転	8～20t	日	—	—	0.069	0.056	
ロードローラ運転	マカダム10t	日	—	—	0.071	0.058	

表 A1 -21-10

路盤材締固め（厚さ20cm）							(100㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満	
タンパ運転	60～80kg	日	0.81	0.65	—	—	
振動ローラ運転	2.4～2.8t	日	0.58	0.7	0.35	0.23	
タイヤローラ運転	8～20t	日	—	—	0.082	0.067	
ロードローラ運転	マカダム10t	日	—	—	0.085	0.069	

表 A1 -21-11

プライムコート散布				(100㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	プライムコート	備 考
アスファルトスプレヤ運転	25L/min	日	0.04	
特殊作業員		人	0.07	
普通作業員		人	0.04	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員及び普通作業員とする。

表 A1 -21-12

アスファルト混合物敷きならし（厚さ3cm）							(100㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満	
アスファルトフィニッシャ運転	2.0～4.5m	日	—	0.087	0.076	0.066	
世話役		人	0.3	0.2	0.16	0.12	
特殊作業員		人	0.9	0.94	0.78	0.59	
普通作業員		人	1.7	0.85	0.66	0.46	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、特殊作業員及び普通作業員とする。

表 A1 -21-13

アスファルト混合物敷きならし（厚さ5cm）							(100㎡当たり)	
名 称	摘 要	単 位	施 工 規 模				備 考	
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満		
アスファルトフィニッシャ	2.0～4.5m	日	—	0.087	0.076	0.066		
世 話 役		人	0.3	0.2	0.16	0.12		
特 殊 作 業 員		人	0.9	0.94	0.78	0.59		
普 通 作 業 員		人	2.3	1.09	0.84	0.58		
そ の 他		式	1	1	1	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、特殊作業員及び普通作業員とする。

表 A1 -21-14

アスファルト混合物締固め							(100㎡当たり)	
名 称	摘 要	単 位	施 工 規 模				備 考	
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満		
タ ン パ 運 転	60～80kg	日	0.63	0.5	—	—		
振 動 ロ ー ラ 運 転	2.4～2.8t	日	0.23	0.28	0.14	0.09		
タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転	8～20t	日	—	—	0.082	0.056		
ロ ー ド ロ ー ラ 運 転	マカダム10t	日	—	—	0.085	0.068		

表 A1 -21-15

舗装機械運転								(1日当たり)
機 械 名	規 格	機 械 損 料 (供用日)	燃 料 (軽油) (L)	燃 料 (ガソリン) (L)	運 転 手 (特殊) (人)	特 殊 作 業 員 (人)	そ の 他 (式)	備 考
モ ー タ グ レ ー ダ	油圧式3.1m級	1.57	48.8	—	1.0	—	1	
タ ン パ	60～80kg	1.33	—	5.0	—	1.0	1	
振 動 ロ ー ラ	2.4～2.8 t	1.57	16.0	—	—	1.0	1	
タ イ ヤ ロ ー ラ	8～20 t	1.86	36.0	—	1.0	—	1	
ロ ー ド ロ ー ラ	マカダム10t	1.57	37.0	—	1.0	—	1	
アスファルトスプレヤ	25L/min	1.57	—	3.4	—	—	1	手押し式
アスファルトフィニッシャ	2.0～4.5m	1.75	29.5	—	1.0	—	1	ホイール型

- (注) 1. アスファルトスプレヤの運転は、舗設労務により行うものとする。
 2. アスファルトフィニッシャは、加熱用燃料として軽油を1日当たり12L加算する。
 3. 「その他」の率対象は、燃料、運転手（特殊）及び特殊作業員とする。

表 A1 -21-16

舗装機械運搬 (1日当たり往復)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
トラック運転	11t積	日	別表	所要量は別表A1-21-16-1による

別表 A1 -21-16- 1

舗装機械運搬					
機 械 名	規 格	質量 (t)	運搬機械		備 考
			規格	日数(往復)	
モータグレーダ	油圧式3.1m級	10.0	トラック11t積	1.3	
振動ローラ	2.4~2.8t	2.5	トラック11t積	0.8	
タイヤローラ	8~20t	14.8	トラック11t積	1.7	
ロードローラ	マカダム10t	9.3	トラック11t積	1.3	
アスファルトフィニッシャ	2.0~4.5m	6.7	トラック11t積	1.1	

(注) 1. 運搬機械の日数は、トラック11t積による換算値である。

表 A1 -21-17

トラック運転 (1日当たり)				
名称	摘要	単位	11t積	備考
運転手(一般)		人	1.0	
燃 料	軽油	L	47.3	
機 械 損 料		供用日	1.13	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(一般)及び燃料とする。

第 22 節 植 栽

1 一般事項

- (1) 表A1-22-1～表A1-22-18の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 植栽機械は排出ガス対策型とする。また、植栽機械運搬費は別途計上する。
- (4) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

(1) 適用条件及び留意事項

植栽基盤整備、植付け、掘取り、幹巻き、支柱、芝張り及び植栽機械運搬に適用する。

(2) 細目工種

表 A1 -22- 1

植栽基盤整備（A種）							(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単位	有効土層 (cm)				備 考
			50	60	80	100	
バックホウ運転	0.28m ³	日	0.006	0.007	0.01	0.012	
ホイールローダ運転	0.4m ³	日	0.006	0.006	0.006	0.006	
普通作業員		人	0.008	0.009	0.012	0.014	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 -22- 2

植栽基盤整備（B種）				(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単位	有効土層 (cm)	備 考
			20	
ホイールローダ運転	0.4m ³	日	0.006	
普通作業員		人	0.002	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 -22- 3

植栽基盤整備（C種）		（1 m ² 当たり）					備考	
名称	摘要	単位	有効土層（cm）					
			20	50	60	80		100
植込み用土		m ³	0.22	0.55	0.66	0.88	1.1	
バックホウ運転	0.28m ³	日	0.006	0.015	0.018	0.024	0.03	
普通作業員		人	0.006	0.015	0.018	0.024	0.03	
その他		式	1	1	1	1	1	

(注) 1. 植込み用土は、客土又は現場発生の良い土とする。
 2. 植込み用土は、ほぐれた状態の土とする。
 3. 「その他」の率対象は、植込み用土及び普通作業員とする。

表 A1 -22- 4

植栽基盤整備（D種）		（1 m ² 当たり）					備考	
名称	摘要	単位	有効土層（cm）					
			20	50	60	80		100
植込み用土		m ³	0.22	0.55	0.66	0.88	1.1	
バックホウ運転	0.28m ³	日	0.003	0.007	0.008	0.01	0.013	
普通作業員		人	0.003	0.007	0.008	0.01	0.013	
その他		式	1	1	1	1	1	

(注) 1. 植込み用土は、客土又は現場発生の良い土とする。
 2. 植込み用土は、ほぐれた状態の土とする。
 3. 「その他」の率対象は、植込み用土及び普通作業員とする。

表 A1 -22- 5

植付け（高木）		（1 本当たり）					備考	
名称	摘要	単位	幹 周（cm）					
			15未満	15～25 未満	25～40 未満	40～60 未満		60～90 未満
世話役		人	0.032	0.054	0.05	0.1	0.16	
造園工		人	0.161	0.274	0.23	0.44	0.74	
普通作業員		人	0.096	0.163	0.14	0.26	0.45	
トラック運転	クレーン装置付 4t級2.9t吊	日	—	—	0.087	0.108	—	
バックホウ運転	0.13m ³	日	—	—	0.021	0.048	0.105	
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日	—	—	—	—	0.09	資料による
その他		式	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工及び普通作業員とする。

表 A1 -22- 6

植付け（中低木）							（1本当たり）
名 称	摘 要	単 位	樹 高（cm）				備 考
			50未満	50～100 未満	100～200 未満	200～300 未満	
世 話 役		人	0.001	0.002	0.005	0.02	
造 園 工		人	0.008	0.012	0.037	0.15	
普 通 作 業 員		人	0.006	0.01	0.03	0.122	
そ の 他		式	1	1	1	1	

（注）1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工及び普通作業員とする。

表 A1 -22- 7

植付け（地被類）					（1㎡当たり）
名 称	摘 要	単 位	りゅうのひげ類	笹 類	備 考
世 話 役		人	0.007	0.008	
造 園 工		人	0.028	0.032	
普 通 作 業 員		人	0.03	0.034	
そ の 他		式	1	1	

（注）1. 植付け株数は、44株/㎡程度とする。

2. 「その他」の率対象は、世話役、造園工及び普通作業員とする。

表 A1 -22- 8

掘取り（中低木、根巻き有り）							（1本当たり）
名 称	摘 要	単 位	樹 高（cm）				備 考
			50未満	50～100 未満	100～200 未満	200～300 未満	
世 話 役		人	0.003	0.004	0.007	0.017	
造 園 工		人	0.02	0.029	0.054	0.13	
普 通 作 業 員		人	0.016	0.023	0.045	0.114	
そ の 他		式	1	1	1	1	

（注）1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工及び普通作業員とする。

表 A1 -22- 9

掘取り（中低木、根巻き無し）							（1本当たり）
名 称	摘 要	単 位	樹 高（cm）				備 考
			50未満	50～100 未満	100～200 未満	200～300 未満	
世 話 役		人	0.002	0.003	0.006	0.014	
造 園 工		人	0.016	0.024	0.045	0.1	
普 通 作 業 員		人	0.016	0.023	0.045	0.114	
そ の 他		式	1	1	1	1	

（注）1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工及び普通作業員とする。

表 A1 -22- 10

掘取り（高木、根巻き有り）		（1本当たり）					備考	
名 称	摘 要	単 位	幹 周（cm）					
			15未満	15～25 未満	25～40 未満	40～60 未満		60～90 未満
世 話 役		人	0.02	0.044	0.07	0.1	0.17	賃料による
造 園 工		人	0.103	0.221	0.36	0.55	0.88	
普 通 作 業 員		人	0.061	0.132	0.13	0.21	0.34	
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 4t級2.9t吊	日	—	—	0.017	0.024	—	
バ ッ ク ホ ウ 運 転	0.13m ³	日	—	—	0.064	0.091	0.148	
ト ラ ッ ク ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日	—	—	—	—	0.03	
雑 費		式	1 (労務費の4%)	1 (労務費の5%)	1 (労務費の6%)	1 (労務費の5%)	1 (労務費の5%)	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員及び雑費とする。

表 A1 -22- 11

掘取り（高木、根巻き無し）		（1本当たり）					備考	
名 称	摘 要	単 位	幹 周（cm）					
			15未満	15～25 未満	25～40 未満	40～60 未満		60～90 未満
世 話 役		人	0.017	0.036	0.06	0.09	0.14	賃料による
造 園 工		人	0.085	0.183	0.31	0.49	0.78	
普 通 作 業 員		人	0.061	0.132	0.13	0.21	0.34	
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 4t級2.9t吊	日	—	—	0.017	0.024	—	
バ ッ ク ホ ウ 運 転	0.13m ³	日	—	—	0.064	0.091	0.148	
ト ラ ッ ク ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日	—	—	—	—	0.03	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工及び普通作業員とする。

表 A1 -22- 12

幹巻き（高木）							(1本当たり)
名 称	摘 要	単 位	幹 周 (cm)			備 考	
			25~40 未満	40~60 未満	60~90 未満		
世 話 役		人	0.011	0.02	0.032		
造 園 工		人	0.049	0.087	0.142		
普 通 作 業 員		人	0.019	0.034	0.055		
雑 費		式	1 (労務費の15%)	1 (労務費の17%)	1 (労務費の20%)		
そ の 他		式	1	1	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員及び雑費とする。

表 A1 -22- 13

支柱（1）								(1本当たり)
名 称	摘 要	単 位	添え柱型 一本	竹布掛け	二脚鳥居 (添木付)	二脚鳥居 (添木なし)	三脚鳥居	備考
世 話 役		人	0.003	0.023	0.018	0.013	0.018	
造 園 工		人	0.015	0.049	0.102	0.077	0.102	
普 通 作 業 員		人	0.011	0.063	0.059	0.044	0.059	
杉 丸 太	長0.6m 末口6cm	本	—	—	1	1	—	
杉 丸 太	長0.6m 末口7.5cm	本	—	—	—	—	1	
杉 丸 太	長1.8m 末口6cm	本	—	—	2	2	—	
杉 丸 太	長1.8m 末口7.5cm	本	—	—	—	—	3	
こ ず え 丸 太	長4m 末口3cm	本	—	—	1	—	—	
真 竹	12本束 長1.5m	本	1	—	—	—	—	
真 竹	12本束 長6.0m	本	—	0.5	—	—	—	
雑 費		式	1 (労務費・材料費 の7%)	1 (労務費・材料費 の2%)	1 (労務費・材料費 の3%)	1 (労務費・材料費 の3%)	1 (労務費・材料費 の3%)	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員、杉丸太、こずえ丸太、真竹及び雑費とする。

表 A1 -22-14

支柱（2）			（1本当たり）					
名称	摘要	単位	十字鳥居	二脚鳥居 組合せ	八つ掛 竹三本	八つ掛 丸太L=4m	八つ掛 丸太L=6~7m	備考
世話役		人	0.027	0.036	0.013	0.02	0.031	
造園工		人	0.153	0.204	0.074	0.111	0.176	
普通作業員		人	0.089	0.118	0.043	0.064	0.102	
杉丸太	長0.6m 末口6cm	本	—	—	—	3	3	
杉丸太	長0.75m 末口7.5cm	本	2	4	—	—	—	
杉丸太	長1.8m 末口7.5cm	本	2	—	—	—	—	
杉丸太	長2.1m 末口7.5cm	本	2	4	—	—	—	
杉丸太	長4.0m 末口6cm	本	—	—	—	3	—	
杉丸太	長6.3m 中径6cm	本	—	—	—	—	3	
真竹	12本束 長2.5m	本	—	—	3	—	—	
雑費		式	1 (労務費・材料費 の3%)	1 (労務費・材料費 の2%)	1 (労務費・材料費 の4%)	1 (労務費・材料費 の3%)	1 (労務費・材料費 の3%)	
その他		式	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員、杉丸太、真竹及び雑費とする。

表 A1 -22-15

芝張り			（1㎡当たり）		
名称	摘要	単位	目地張り	べた張り	備考
世話役		人	0.002	0.002	
造園工		人	0.011	0.011	
普通作業員		人	0.023	0.023	
芝		㎡	0.7	1.0	
芝目土		m ³	0.027	0.027	
雑費		式	—	1	竹串を必要とする場合に労務費の5%を計上
その他		式	1	1	

(注) 1. 芝の種類は、こうらい芝及び野芝とする。

2. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員、芝、芝目土及び雑費とする。

表 A1 -22-16

植栽土工機械運転 (1日当たり)						
機 械 名	規 格	適用単価表	運転労務 (人)	燃料(軽油) (L)	機械損料 (供用日)	備 考
バックホウ	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.28m ³	単価表 (別表A1-22-16-1)	1.0	37.0	1.64	
バックホウ	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.13m ³	単価表 (別表A1-22-16-1)	1.0	22.4	1.78	
トラック	クレーン装置付 4t級2.9t吊	単価表 (別表A1-22-16-1)	1.0	31.0	1.23	
ホイールロータ	排出ガス対策型 ホイール型0.4m ³	単価表 (別表A1-22-16-1)	1.0	14.2	1.55	

別表 A1 -22-16-1

運転1日当たり単価表 (1日当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
運転手 (特殊)		人		表A1-22-16による
燃 料		L		表A1-22-16による
機 械 損 料		供用日		表A1-22-16による
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手 (特殊) 及び燃料とする。

表 A1 -22-17

植栽機械運搬(バックホウ) (1日当たり往復)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
トラック 運 転	11t積	日	別表	所要量は別表A1-22-17-1による

別表 A1 -22-17- 1

植栽機械運搬					
機 械 名	規 格	質 量 (t)	運搬機械		備 考
			規 格	日数(往復)	
バックホウ	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.28m ³	7.0	トラック11t積	1.1	
バックホウ	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.13m ³	4.2	トラック11t積	0.9	

(注) 1. 運搬機械の日数は、トラック11t積による換算値である。

表 A1 -22-18

トラック運転					(1日当たり)
名 称	摘 要	単 位	11t積	備 考	
運転手（一般）		人	1.0		
燃 料	軽油	L	47.3		
機 械 損 料		供用日	1.13		
そ の 他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手（一般）及び燃料とする。

第2章 改修工事

1. 本章は、建築物等の模様替及び修繕（以下「改修」という。）に係る建築工事の積算に適用する。
2. 本章に記載の標準歩掛りは、改修工事特有の細目工種について定める。
3. 本章に定める以外の細目工種については第1章よる。ただし、作業効率の低下等を考慮し必要に応じ単価及び価格の割増しができる。

第1節 仮設

1 一般事項

- (1) 表A2-1-1～表A2-1-16の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

(1) 適用条件及び留意事項

- イ. 改修工事における墨出し、養生、整理清掃後片付け、足場、仮設間仕切り及び仮設材運搬に適用する。
- ロ. 墨出し、養生及び整理清掃後片付けの摘要で「個別改修」とは、1室において床、壁及び天井のうち1つの部位のみを改修する場合をいい、「複合改修」とは、1室において床、壁及び天井のうち複数の部位を改修する場合をいう。
- ハ. 仮設資材価格は、基礎価格に1現場当たり損料率を乗じて算定する。

(2) 細目工種

表 A2 - 1 - 1

墨出し（屋上防水改修）			（水平面積1㎡当たり）	
名 称	摘 要	単 位	屋上防水改修	備 考
特殊作業員		人	0.002	
普通作業員		人	0.001	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員及び普通作業員とする。

表 A2 - 1 - 2

養生（屋上防水改修）					(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	アスファルト防水 (防水保護層共)	露出防水・簡易防水 (塗膜・シート)	備考
普通作業員		人	0.004	0.002	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 1 - 3

整理清掃後片付け（屋上防水改修）					(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	アスファルト防水 (防水保護層共)	露出防水・簡易防水 (塗膜・シート)	備考
軽作業員		人	0.018	0.009	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、軽作業員とする。

表 A2 - 1 - 4

墨出し（外壁改修）					(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	タイル・モルタル塗替等		備考
			一般		
特殊作業員		人	0.002		
普通作業員		人	0.001		
その他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員及び普通作業員とする。

表 A2 - 1 - 5

養生（外壁改修）					(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	所要量	備考	
普通作業員		人	0.015		
その他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 1 - 6

整理清掃後片付け（外壁改修）					(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	所要量	備考	
軽作業員		人	0.07		
その他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、軽作業員とする。

表 A2 - 1 - 7

開口部養生（外壁改修）			(1㎡当たり)		
名称	摘要	単位	合板張り養生		備考
合板	2類厚5.5mm	㎡	1.05		33%
木下地材	仮設用材	㎡	0.01		33%
くぎ		kg	0.02		100%
大工		人	0.04		
その他		式	1		

- (注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。
 2. 表中の施工手間は、設置65%、撤去35%の割合とする。
 3. 外壁タイル及びモルタル等の撤去に伴い必要に応じて使用する。
 4. 「その他」の率対象は、くぎ及び大工とする。

表 A2 - 1 - 8

墨出し（内部改修）					(床面積1㎡当たり)	
名称	摘要	単位	個別改修	複合改修	備考	
特殊作業員		人	0.002	0.003		
普通作業員		人	0.001	0.002		
その他		式	1	1		

- (注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員及び普通作業員とする。

表 A2 - 1 - 9

養生（内部改修）			(床面積1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	個別改修	複合改修	塗装塗替え程度	搬出入路部分	備考
普通作業員		人	0.007	0.011	0.004	0.004	
その他		式	1	1	1	1	

- (注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 1 - 10

整理清掃後片付け（内部改修）			(床面積1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	個別改修	複合改修	塗装塗替え程度	搬出入路部分	備考
軽作業員		人	0.036	0.054	0.018	0.018	
その他		式	1	1	1	1	

- (注) 1. 塗装塗替え程度は、既存塗膜を除去する場合に使用する。
 2. 「その他」の率対象は、軽作業員とする。

表 A2 - 1 -11

内部仕上足場（階高4.0m以下 脚立足場 改修）						(床面積1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	一 般	塗装塗替え程度		備 考
				既存塗膜の 除去有り	既存塗膜の 除去無し	
鋼 製 脚 立	1,800mm級	脚	0.2	0.2	0.2	4%(既存塗膜除去無しは2%)
合 板 足 場 板	240×400mm	枚	0.2	0.2	0.2	4%(既存塗膜除去無しは2%)
普 通 作 業 員		人	0.028	0.014	0.009	
そ の 他		式	1	1	1	

- (注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。
 2. 仮設材の運搬は、表A1-1-33及び別表A1-1-33-6により別途計上する。
 3. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 1 -12

仮設間仕切り下地（A、B種）					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	軽鉄下地	木下地	備 考
ス タ ッ ド	65形	m	2.3	—	50%
ラ ン ナ		m	0.6	—	50%
ス ペ ー サ ー		個	3.5	—	100%
打 込 み ピ ン		個	0.7	—	100%
振 止 め		m	0.8	—	50%
木 下 地 材		仮設用材	m ³	—	0.014
特 殊 作 業 員		人	0.038	—	
大 工		人	—	0.098	
そ の 他		式	1	1	

- (注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。
 2. 表中の施工手間は、設置65%、撤去35%の割合とする。
 3. 表中の仕様A種及びB種は、公共建築改修工事標準仕様書による。
 4. 「その他」の率対象は、特殊作業員及び大工とする。

表 A2 - 1 -13

仮設間仕切り（C種）				(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	単管下地	備 考
丸 パ イ プ		m	1.42	5%
養 生 シ ー ト		㎡	1.1	8%
ク ラ ン プ		個	0.45	20%
固 定 ベ ー ス		個	0.06	20%
と び 工		人	0.048	
そ の 他		式	1	

- (注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。
 2. 表中の施工手間は、設置65%、撤去35%の割合とする。
 3. 表中の仕様C種は、公共建築改修工事標準仕様書による。
 4. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A2 - 1 -14

仮設間仕切り仕上材（A，B種）							(1m ² 当たり)
名 称	摘 要	単位	A種（両面）		B種（片面）		備 考
			合板	せっこうボード	合板	せっこうボード	
合 板	厚9.0mm	m ²	2.1	—	1.05	—	33%
せっこうボード	厚9.5mm 準不燃	m ²	—	2.1	—	1.05	50%
く ぎ		kg	0.04	0.04	0.02	0.02	100%
ガラスウール	32K 厚50mm	m ²	1.05	1.05	—	—	50%
大 工		人	0.14	0.14	0.07	0.07	
内 装 工		人	0.03	0.03	—	—	
そ の 他		式	1	1	1	1	

- (注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。
 2. 表中の施工手間は、設置65%、撤去35%の割合とする。
 3. 表中の仕様A種及びB種は、公共建築改修工事標準仕様書による。
 4. 「その他」の率対象は、くぎ、大工及び内装工とする。

表 A2 - 1 -15

仮設材運搬（仮設間仕切り（C種））				(100m ² 当たり往復)
名 称	摘 要	単位	単管下地	備 考
トラック運転	4t積	日	0.15	

表 A2 - 1 -16

トラック運転				(1日当たり)
名 称	摘 要	単位	4t積	備 考
運転手（一般）		人	1.0	
燃 料	軽油	L	26.0	
機 械 損 料		供用日	1.13	
そ の 他		式	1	

- (注) 1. 「その他」の率対象は、運転手（一般）及び燃料とする。

第2節 撤 去

1 一般事項

- (1) 表A2-2-1～表A2-2-51の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築改修工事標準仕様書による。
- (3) 撤去材の撤去後の清掃及び指定場所までの集積を含む。
- (4) 石綿含有成形板と石綿を含まない内装材等は区分してそれぞれに対応する単価及び価格を使用する。
- (5) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

(1) 適用条件及び留意事項

- イ. 改修工事における撤去に適用する。
- ロ. コンクリート撤去は、コンクリートブレーカを標準とし、少量の場合は人力を考慮する。
- ハ. 石綿含有成形板の撤去は、手ばらし手間までとし撤去に必要な隔離養生等の仮設、清掃費及び飛散防止手間は含まない。ただし、飛散防止のために必要な湿潤化に要する手間は含むものとする。

(2) 細目工種

表 A2 - 2 - 1

コンクリート撤去							(1m ³ 当たり)
名 称	摘 要	単位	鉄筋切断共		無筋		備 考
			人力	コックレト	人力	コックレト	
特殊作業員		人	2.7	1.0	1.62	0.6	運転日当たり
普通作業員		人	0.68	0.33	0.408	0.198	
溶接工		人	0.03	0.03	—	—	
コンクリートブレーカ	30kg	日	—	1.0	—	0.6	
酸素		m ³	0.08	0.08	—	—	
アセチレン		kg	0.02	0.02	—	—	
空気圧縮機運転	可搬式、スクュー エンジン掛7.5～7.8m ³	日	—	0.33	—	0.198	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員、溶接工、酸素及びアセチレンとする。

表 A2 - 2 - 2

れんが撤去 (1m ³ 当たり)					
名称	摘要	単位	人力	コンクリートブレイカ	備考
特殊作業員		人	1.08	0.4	運転日当たり
普通作業員		人	0.272	0.132	
コンクリートブレイカ	30kg	日	—	0.4	
空気圧縮機運転	可搬式、スクレー エンジン掛7.5~7.8m ³	日	—	0.132	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員及び普通作業員とする。

表 A2 - 2 - 3

CB撤去 (1m ³ 当たり)					
名称	摘要	単位	人力	コンクリートブレイカ	備考
特殊作業員		人	1.08	0.4	運転日当たり
普通作業員		人	0.272	0.132	
溶接工		人	0.012	0.012	
酸素		m ³	0.032	0.032	
アセチレン		kg	0.008	0.008	
コンクリートブレイカ	30kg	日	—	0.4	
空気圧縮機運転	可搬式、スクレー エンジン掛7.5~7.8m ³	日	—	0.132	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員、溶接工、酸素及びアセチレンとする。

表 A2 - 2 - 4

コンクリートはつり (1m ² 当たり)					
名称	摘要	単位	床厚30mm	壁厚30mm	備考
普通作業員		人	0.03	0.033	運転日当たり
はつり工		人	0.125	0.135	
ピックハンマ		日	0.125	0.135	
空気圧縮機運転	可搬式、スクレー エンジン掛5.0m ³	日	0.03	0.033	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員及びはつり工とする。

表 A2 - 2 - 5

目あらし (1㎡当たり)					
名 称	摘 要	単位	コンクリート面		備 考
			床	壁	
普通作業員		人	0.01	0.012	運転日当たり
はつり工		人	0.04	0.05	
ピックハンマ		日	0.04	0.05	
空気圧縮機運転	可搬式、スクリュー エンジン掛5.0m ³	日	0.01	0.012	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員及びはつり工とする。

表 A2 - 2 - 6

ケレン (1㎡当たり)					
名 称	摘 要	単位	床	壁	備 考
普通作業員		人	0.03	0.035	
その他		式	1	1	

(注) 1. ケレンはデッキブラシ等で行うものとする。
2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 - 7

床清掃 (1㎡当たり)				
名 称	摘 要	単位	所要量	備 考
軽作業員		人	0.018	
その他		式	1	

(注) 1. 布等による汚れの拭き取り程度とする。
2. 「その他」の率対象は、軽作業員とする。

表 A2 - 2 - 8

壁清掃 (1㎡当たり)				
名 称	摘 要	単位	所要量	備 考
軽作業員		人	0.018	
その他		式	1	

(注) 1. 布等による汚れの拭き取り程度とする。
2. 「その他」の率対象は、軽作業員とする。

表 A2 - 2 - 9

カッター入れ (1m当たり)					
名称	摘要	単位	モルタル面 厚さ20~30mm	コンクリート面 厚さ20~30mm	備考
はつり工	手動式、ブレード径20cm	人	0.03	0.05	
コンクリートカッタ運転		日	0.03	0.05	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、はつり工とする。

表 A2 - 2 -10

床タイル撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	下地モルタル共	備考
普通作業員	可搬式、スクリュー エンジン掛5.0m ³	人	0.025	運転日当たり
はつり工		人	0.1	
ピックハンマ		日	0.1	
空気圧縮機運転		日	0.025	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員及びはつり工とする。

表 A2 - 2 -11

床モルタル・床人研ぎ撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員	可搬式、スクリュー エンジン掛5.0m ³	人	0.02	運転日当たり
はつり工		人	0.08	
ピックハンマ		日	0.08	
空気圧縮機運転		日	0.02	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員及びはつり工とする。

表 A2 - 2 -12

ビニル床シート撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.04	
その他		式	1	

(注) 1. カッターによる切断及び接着剤の除去を含む。
2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 - 13

ビニル床タイル撤去 (1㎡当たり)					
名称	摘要	単位	一般	石綿含有	備考
普通作業員		人	0.06	0.08	
その他		式	1	1	

- (注) 1. カッターによる切断及び接着剤の除去を含む。
 2. 石綿含有材撤去の作業区分をレベル3で想定している。
 3. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -14

カーペット撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.04	
その他		式	1	

- (注) 1. カッターによる切断及び接着剤の除去を含む。
 2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -15

タイルカーペット撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.03	
その他		式	1	

- (注) 1. 接着剤の除去を含む。
 2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -16

土台撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.05	
その他		式	1	

- (注) 1. 木製間仕切りの土台に使用する。
 2. アンカーボルト切断を含む。
 3. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -17

床組撤去 (1㎡当たり)					
名称	摘要	単位	つか立て	ころばし	備考
普通作業員		人	0.14	0.11	
その他		式	1	1	

- (注) 1. 畳下及びフローリング下の床組に使用する。
 2. つか、土台及びアンカーボルト切断を含む。
 3. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -18

床・縁甲板フローリング撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.07	
その他		式	1	

(注) 1. 床組は含まない。
2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -19

床下地板撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.02	
その他		式	1	

(注) 1. 畳及びフローリングの下地板に使用する。
2. 床組は含まない。
3. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -20

敷居撤去 (1本当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.035	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -21

鴨居撤去 (1本当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.035	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -22

畳撤去 (1枚当たり)					
名称	摘要	単位	一畳	半畳	備考
普通作業員		人	0.03	0.018	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -23

柱撤去 (1本当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.06	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -24

頭押さえ撤去 (1m当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.04	
その他		式	1	

(注) 1. アンカーボルト切断を含む。
2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -25

木製幅木撤去 (1m当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.02	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -26

ビニル幅木撤去 (1m当たり)					
名称	摘要	単位	一般	石綿含有	備考
普通作業員		人	0.01	0.02	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -27

壁タイル撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	下地モルタル共	備考
普通作業員		人	0.025	
はつり工		人	0.1	
ピックハンマ		日	0.1	運転日当たり
空気圧縮機運転	可搬式、スクレー エンジン掛5.0m ³	日	0.025	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員及びはつり工とする。

表 A2 - 2 -28

壁モルタル・プラスター撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.023	運転日当たり
はつり工		人	0.09	
ピックハンマ		日	0.09	
空気圧縮機運転	可搬式、スクレー エンジン掛5.0m ³	日	0.023	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員及びはつり工とする。

表 A2 - 2 -29

壁合板・ボード撤去 (1㎡当たり)							
名称	摘要	単位	一重張り		二重張り		備考
			一般	石綿含有	一般	石綿含有	
普通作業員		人	0.04	0.09	0.048	0.11	
その他		式	1	1	1	1	

- (注) 1. 下地撤去は含まない。
 2. 二重張り撤去は、躯体若しくは準躯体より二重張りのまま撤去する場合に適用する。
 3. 石綿含有材撤去の作業区分をレベル3で想定している。
 4. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -30

壁下地撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.02	
その他		式	1	

- (注) 1. ボード等の仕上げ撤去は含まない。
 2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -31

壁クロス撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.03	
その他		式	1	

- (注) 1. 下地のボード等は含まない。
 2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -32

天井 plaster 撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.023	運転日当たり
はつり工		人	0.09	
ピックハンマ		日	0.09	
空気圧縮機運転	可搬式、スクレー エンジン掛5.0m ³	日	0.023	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員及びはつり工とする。

表 A2 - 2 -33

天井合板・ボード撤去 (1㎡当たり)							
名称	摘要	単位	一重張り		二重張り		備考
			一般	石綿含有	一般	石綿含有	
普通作業員		人	0.05	0.11	0.06	0.13	
その他		式	1	1	1	1	

- (注) 1. 下地撤去は含まない。
 2. 二重張り撤去は、躯体若しくは準躯体より二重張りのまま撤去する場合に適用する。
 3. 石綿含有材撤去の作業区分をレベル3で想定している。
 4. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -34

天井下地撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.03	
その他		式	1	

- (注) 1. ボード等の仕上げ撤去は含まない。
 2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -35

天井クロス撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.03	
その他		式	1	

- (注) 1. 下地のボード等は含まない。
 2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -36

木製戸撤去 (1㎡当たり)							
名 称	摘 要	単位	片開き戸		両開き戸		備 考
			枠 共	扉のみ	枠 共	扉のみ	
普通作業員		人	0.047	0.024	0.041	0.02	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -37

鋼製戸撤去 (1㎡当たり)							
名 称	摘 要	単位	片開き戸		両開き戸		備 考
			枠 共	扉のみ	枠 共	扉のみ	
普通作業員		人	0.024	0.012	0.02	0.01	
サッシ工		人	0.094	0.047	0.081	0.041	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員及びサッシ工とする。

表 A2 - 2 -38

建具周囲はつり (1㎡当たり)					
名 称	摘 要	単位	RC 15cm	RC 20cm	備 考
普通作業員		人	0.03	0.035	
はつり工		人	0.12	0.14	
コンクリートブレーカ	30kg	日	0.12	0.14	運転日当たり
空気圧縮機運転	可搬式、スクュー エンジン掛7.5~7.8m ³	日	0.03	0.035	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員及びはつり工とする。

表 A2 - 2 -39

ガラス撤去 (1㎡当たり)				
名 称	摘 要	単位	所要量	備 考
ガラス工		人	0.2	
その他		式	1	

(注) 1. 単層ガラスとする。
2. 「その他」の率対象は、ガラス工とする。

表 A2 - 2 -40

床マンホール・点検口撤去 (1か所当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
はつり工		人	0.2	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、はつり工とする。

表 A2 - 2 -41

天井点検口撤去 (1か所当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.1	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -42

たてどい撤去 (1m当たり)					
名称	摘要	単位	鋼管	VP管	備考
配管工		人	0.2	0.1	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表 A2 - 2 -43

発生材積み込み (1m ³ 当たり)					
名称	摘要	単位	コンクリート類	ボード・木材類	備考
			人力	人力	
普通作業員		人	0.24	0.2	
ベルトコンベヤ運転	エンジン駆動、機長7m、 ベルト幅350mm	日	0.24	—	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -44

既存塗膜除去 (1m ² 当たり)									
名称	摘要	単位	鉄鋼面・亜鉛めっき鋼面		コンクリート・モルタル面		木部・ボード面		備考
			工程RA種	工程RB種	工程RA種	工程RB種	工程RA種	工程RB種	
研磨紙	P120~320	枚	0.85	0.25	0.85	0.25	0.85	0.25	
塗装工		人	0.1	0.028	0.06	0.017	0.054	0.015	
その他		式	1	1	1	1	1	1	

(注) 1. 工程RA種の場合の除去範囲は、塗替え面積の100%とする。
 2. 工程RB種の場合の除去範囲は、塗替え面積の30%とする。
 3. 「その他」の率対象は、研磨紙及び塗装工とする。

表 A2 - 2 -45

既存防水層撤去 (1㎡当たり)						
名 称	摘 要	単位	屋上防水層		屋内防水層	備 考
			アスファルト防水層	シート防水層	アスファルト防水層	
普通作業員		人	0.08	0.07	0.10	
その他		式	1	1	1	

(注) 1. 立ち上がり部を含む。
 2. 押さえコンクリート及び保護モルタル等の撤去は含まない。
 3. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -46

シーリング撤去 (1m当たり)				
名 称	摘 要	単位	所要量	備 考
防水工		人	0.02	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、防水工とする。

表 A2 - 2 -47

撤去機械運転 (1日当たり)							
機 械 名	規 格	適用単価表	運転労務 (人)	機械損料 (供用日)	燃料(L)		備 考
					軽油	ガソリン	
空気圧縮機	可搬式、スクュー エンジン掛7.5~7.8m ³ 排出ガス対策型	単価表 (別表A2-2-47-1)	—	1.56	50.1	—	
空気圧縮機	可搬式、スクュー エンジン掛5.0m ³ 排出ガス対策型	単価表 (別表A2-2-47-1)	—	1.56	33.1	—	
コンクリートカッター	手動式、プレート径20cm	単価表 (別表A2-2-47-1)	—	1.67	—	1.38	
ベルトコンベヤ	エンジン駆動、機長7m 、ベルト幅350mm	単価表 (別表A2-2-47-1)	—	1.5	—	7.8	
ダンプトラック	10 t 積級	単価表 (別表A2-2-47-2)	1	1.29	58.1	—	
ダンプトラック	4 t 積級	単価表 (別表A2-2-47-2)	1	1.29	32.0	—	
ダンプトラック	2 t 積級	単価表 (別表A2-2-47-2)	1	1.29	20.8	—	

別表 A2 - 2 -47 - 1

運転1日当たり単価表1 (1日当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
燃料		L		表 A2 - 2 -47 による
機械損料		供用日		表 A2 - 2 -47 による
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、燃料とする。

別表 A2 - 2 -47 - 2

運転1日当たり単価表2 (1日当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
運転手（一般）		人		表A2 - 2 - 47 による
燃料		L		表A2 - 2 - 47 による
機械損料		供用日		表A2 - 2 - 47 による
タイヤ損耗費		供用日		所要量は機械損料による
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手（一般）及び燃料とする。

表 A2 - 2 -48

撤去材運搬 (1m ³ 当たり往復)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
ダンプトラック運搬	10t積級	日	D/100	運搬日数(D)は次式による。

運搬日数の算定式

$$100\text{m}^3\text{当たり運搬日数}(D) = 100\text{m}^3\text{当たり運搬日数}(D1) \times \text{補正係数}(k)$$

別表 A2 - 2 -48 - 1

ダンプトラック運搬日数(D1) (100m³当たり)

積込機械	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.8m ³																
	ダンプトラック 10t積級																
D I D 区間：無し																	
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	6.5 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.5 以下	22.5 以下	49.5 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1	
D I D 区間：有り																	
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	11.0 以下	14.0 以下	19.5 以下	31.5 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1	

- (注) 1. 上記別表は、100m³のとりこわし量を運搬する日数である。
 2. 運搬距離は片道距離であり、往路と復路が異なる時は、平均値とする。
 3. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。
 4. D I D (人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
 5. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途積上げとする。

補正係数(k)

名称	無筋コンクリート	木材類	せっこうボード類
補正係数	1.27	0.33	0.44

表 A2 - 2 -49

撤去材運搬（小規模、人力積込）					(1m ³ 当たり往復)
名称	摘要	単位	所要量	備考	
ダンプトラック運搬	4t積級又は2t積級	日	D/10	運搬日数(D)は次式による	

(注) 1. 適用機械については小規模は4t積級、人力積込は2t積級を標準とするが、現場状況等によりその使用が困難な場合は別途考慮する。

運搬日数の算定式

$$10\text{m}^3\text{当たり運搬日数}(D) = 10\text{m}^3\text{当たり運搬日数}(D1) \times \text{補正係数}(k)$$

別表 A2 - 2 -49- 1 ダンプトラック運搬日数(D1) (10m³当たり)

積込機械	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.28m ³														
運搬機種	ダンプトラック 4t積級														
D I D 区間：無し															
運搬距離 (km)	0.2 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.0 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.5 以下	10.0 以下	13.0 以下	19.0 以下	35.0 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.2	0.25	0.3	0.35	0.4	0.45	0.5	0.55	0.6	0.8	0.9	1.1	1.5	2.3	
D I D 区間：有り															
運搬距離 (km)	0.2 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.0 以下	27.0 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.2	0.25	0.3	0.35	0.4	0.45	0.5	0.55	0.6	0.8	0.9	1.1	1.5	2.3	

別表 A2 - 2 -49- 2 ダンプトラック運搬日数(D1) (10m³当たり)

積込機械	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.13m ³														
運搬機種	ダンプトラック 2t積級														
D I D 区間：無し															
運搬距離 (km)	0.3 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.0 以下	28.5 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.45	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5	
D I D 区間：有り															
運搬距離 (km)	0.3 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.0 以下	6.5 以下	8.0 以下	11.0 以下	15.0 以下	24.0 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.45	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5	

別表 A2 - 2 -49- 3 ダンプトラック運搬日数(D1) (10m³当たり)

積込機械	人力														
運搬機種	ダンプトラック 2t積級														
D I D 区間：無し															
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.0 以下	6.5 以下	8.5 以下	11.0 以下	16.0 以下	27.5 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.5	0.55	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5	
D I D 区間：有り															
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	8.0 以下	10.5 以下	14.5 以下	23.0 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.5	0.55	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5	

- (注) 1. 上記別表は、10m³のとりこわし量を運搬する日数である。
 2. 運搬距離は片道距離であり、往路と復路が異なる時は、平均値とする。
 3. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。
 4. D I D (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
 5. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途積上げとする。

表 A2 - 2-50

撤去機械運搬 (1日当たり往復)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
トラック運転	11t積	日	別表	所要量は別表A2- 2-50-1による

別表 A2 - 2-50- 1

撤去機械運搬				
機 械 名	規 格	運搬機械		備 考
		規格	日数(往復)	
空 気 圧 縮 機	可搬式、スクルーエンジン掛 排出ガス対策型	トラック11t積	0.7	

(注) 1. 運搬機械の日数は、トラック11t積による換算値である。

表 A2 - 2-51

トラック運転 (1日当たり)				
名 称	摘 要	単 位	11t積	備 考
運転手(一般)		人	1.0	
燃 料	軽油	L	47.3	
機 械 損 料		供用日	1.13	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(一般)及び燃料とする。

第3節 外壁改修

1 一般事項

- (1) 表A2-3-1の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
外壁改修における施工数量調査に適用する。

- (2) 細目工種

表 A2 - 3 - 1

施工数量調査（外壁改修）			(1㎡当たり)	
名 称	摘 要	単 位	タイル・モルタル塗替改修	打放し面・仕上塗材改修
特殊作業員		人	0.012	0.01
その他		式	1	1

- (注) 1. 壁面積等(実調査面積)に対して使用する。
2. 目視・打診調査及び報告資料の作成を含む。
3. 「その他」の率対象は、特殊作業員とする。